

消 防 統 計

平 成 2 5 年 版



八 潮 市 消 防 本 部

(平成26年刊行)

はじめに

この「消防統計」は、平成25年中における八潮市消防の現況を収録したものです。

予算・組織等については、会計年度で、それ以外のものについては、暦年又は調査年月日で編集しております。

今後も関係機関のご支援をいただき、消防団及び消防関係者と密なる連携を図り、市民各位の期待と信頼に応えるべく、災害の防除に万全を期す所存です。

この消防統計により、八潮市の消防行政に対し、より一層のご理解をいただき、消防、防災体制の確立のため、特段のご支援、ご協力をいただければ幸いです。

平成26年9月

八潮市消防本部

目 次

はじめに	1
目 次	2
○管内情勢	
▲ 八潮市消防の沿革	4
▲ 八潮市の位置及び面積・消防庁舎所在地	14
▲ 人口の推移・消防力の現勢	15
▲ 消防相互応援協定	16
○総 務	
▲ 消防の組織	17
▲ 事務分掌	18
▲ 年度別当初予算・平成 25 年度 主要な施設等の整備	20
▲ 職員配置状況	21
▲ 職員年齢状況	22
▲ 職員勤続年数状況	23
▲ 職員教育訓練実施状況	24
▲ 職員の各種資格取得状況	25
○消防施設	
▲ 消防自動車配置状況	26
▲ 消防通信系統図	27
▲ 消防無線設備一覧	28
▲ 機械器具保有状況	29
▲ 消防水利設置状況	30
○予 防	
▲ 防火対象物現況	31
▲ 防火管理者選任防火対象物数	32
▲ 消防同意処理状況	33
▲ 過去 5 年間の消防同意処理状況	34
▲ 消防用設備等設置届件数内訳	35
▲ 地上 5 階以上の防火対象物	36

○火	災	
▲	火災の概要	37
▲	年別火災件数と損害額の推移	38
▲	時間別火災発生状況	39
▲	火災原因別の出火件数及び損害額	40
▲	過去3年間の主な火災	41
○救	急	
▲	救急活動の推移	42
▲	月別救急活動状況	43
▲	時間別発生状況・覚知時間別状況	44
▲	曜日別救急活動状況	45
▲	職業別搬送人員状況	46
▲	年齢別搬送状況	47
▲	町名別出動状況	48
▲	管内・管外別搬送人員状況	49
○消 防 団		
▲	消防団の組織	50
▲	部別位置及び受け持ち区域	51
▲	階級別勤続年数・階級別年齢状況	52
▲	分団別階級状況・部別消防自動車配置状況	53
▲	部別消防施設一覧	54
▲	消防団員報酬・出動手当、消防団員退職報償金	55
○気	象	
▲	月別天候状況・気温状況・湿度状況	56
▲	月別風向・風速状況、気象注意報等発令状況	57
▲	月別降雨量観測状況	58

八潮市消防の沿革

昭和31年

- 9月28日 八條、潮止、八幡の三村が合併し、八潮村となる。
- 10月2日 八潮消防団発足、団員総数322名、条例定数340名18分団編成となる。
八潮消防団初代団長に小早川小五郎氏就任、副団長に会田昌夫氏、大山謹吾、
蓮見敬助氏就任する。

昭和32年

- 4月1日 消防団員数339名

昭和33年

- 4月1日 消防団員数325名

昭和34年

- 4月1日 消防団員数313名

昭和35年

- 4月1日 消防団員数312名

昭和36年

- 3月31日 消防副団長の蓮見敬助氏退団する。
- 4月1日 消防副団長に国枝福松氏就任する。条例の一部改正により団員定数300名となる。

昭和37年

- 4月1日 消防団員総数292名

昭和38年

- 4月1日 消防団員総数285名

昭和39年

- 4月1日 消防団員総数283名
- 5月31日 消防副団長の国枝福松氏退団する。
- 10月1日 町制施行により八潮町となる。
- 10月1日 消防副団長に織田正吾氏就任する。

昭和40年

- 3月31日 消防団長の小早川小五郎氏退団する。
- 4月1日 二代目消防団長に大山謹吾氏就任、副団長に昼間政次氏就任する。

昭和43年

- 7月29日 埼玉県石油販売組合草加支部より消防連絡車トヨタカラーバン寄贈される。

昭和44年

- 3月8日 消防団にBS-I型消防ポンプ自動車2台購入、第12分団第15分団にそれぞれ配置する。
- 12月1日 消防本部、署庁舎の工事を上馬場13番地に着工する。
- 12月5日 消防団にBS-1型消防ポンプ自動車購入、第2分団に配置する。

昭和45年

- 3月24日 I型化学消防自動車購入、常設本部、署設置に備える。
政令指定基準により、八潮町消防本部設置、初代消防長に町長の太田武夫氏（兼任）
が就任する。横村嶺山氏消防本部次長に任命される。消防職員数消防長以下15名
職員の定数40名、団員総数282名
- 4月1日

- 4 月 1 日 八潮町危険物安全協会発足する。会員事業所数52社
- 5 月 1 日 八潮町消防署設置、初代署長に町長の太田武夫氏（兼任）が就任する。
- 5 月 25 日 八潮町消防本部、署庁舎完成（鉄筋コンクリート造2階建建築延面積734.4㎡
- 5 月 26 日 隔日勤務を開始する。
- 6 月 24 日 消防専用超短波無線開局、基地局1、移動局2、携帯局2
- 7 月 30 日 作業車ダットサントラック購入、署に配置する。
- 8 月 20 日 八潮消防団第7分団、埼玉県消防ポンプ操法大会に出場し入賞する。
- 8 月 20 日 2B型救急自動車購入、救急業務を開始する。

昭和46年

- 3 月 25 日 BD-I型消防ポンプ自動車購入、署に配置する。
- 4 月 1 日 横村消防本部次長、二代目署長兼任となる。消防職員数29名
- 8 月 18 日 消防団にBS-I型消防ポンプ自動車購入、第10分団に配置する。
- 12 月 20 日 新町地内、草加八潮化学工業団地において、爆発火災発生、化学火災の恐ろしさを体験する。

昭和47年

- 1 月 15 日 市制施行に伴い、八潮市消防団と改名
- 2 月 18 日 八潮市消防団、日本消防協会より竿頭綬を受章する。
- 4 月 1 日 二代目消防長に本部次長の横村嶺山氏就任、署長兼任となる。消防職員数37名
- 5 月 25 日 消防指令車日産セドリックバン購入、消防本部に配置する。
- 6 月 1 日 水難事故に備え救助艇を購入、署に配置する。

昭和48年

- 3 月 12 日 化学火災に対処するため、Ⅲ型化学消防ポンプ自動車署に配置する（購入資金の一部を八潮市危険物安全協会の全会員110事業所から寄附される。）
- 4 月 1 日 消防職員数40名、定数46名

昭和49年

- 4 月 1 日 消防職員数46名、定数53名
- 7 月 30 日 小型動力ポンプ付積載車購入、第18分団に配置する。
- 10 月 31 日 2B型救急自動車購入、署に配置する。
- 11 月 9 日 車庫（43.74㎡）を新築し庁舎建築延面積778.14㎡となる。

昭和50年

- 3 月 31 日 副団長の織田正吾氏退団する。
- 4 月 1 日 消防副団長に恩田嘉三郎氏就任、消防職員数49名、消防団員数272名
- 7 月 26 日 小型動力ポンプ付積載車購入、第11分団に配置する。
- 10 月 23 日 八潮市消防団、埼玉県消防協会より特別優良消防団として表彰旗を受章する。
- 11 月 15 日 八潮ライオンズクラブより消防査察車三菱ギャラン・バン寄贈される。

昭和51年

- 4 月 1 日 消防職員数50名、消防団を再編し3分団18部編成にする。団長1名、副団長2名、分団長3名、副分団長3名、部長18名で、団員総数263名
- 9 月 11 日 小型動力ポンプ付積載車購入、第1分団第1部、第3分団第5部にそれぞれ配置する。
- 10 月 1 日 条例改正により、団員定数260名となる。

昭和52年

- 3 月 31 日 消防副団長の会田昌夫氏退団する

- 4 月 1 日 消防職員数 5 2 名、定数 5 6 名、消防団員数 2 4 6 名
- 4 月 29 日 元消防団長の小早川小五郎氏、勲五等瑞宝章を受賞する。
- 8 月 25 日 日本消防協会より小型動力ポンプ付積載車寄贈され第 2 分団第 1 部に配置する。
- 11 月 5 日 小型動力ポンプ付積載車購入、第 1 分団第 3 部、第 2 分団第 3 部にそれぞれ配置する。

昭和 5 3 年

- 3 月 29 日 板橋機械株式会社より、広報車日産キャラバン寄贈され、署に配置する。
- 3 月 31 日 車庫及び待機室 (1 6 8 m²) を増築し、庁舎建築延面積 9 4 6 . 1 4 m²となる。
- 4 月 1 日 消防本部次長に、小倉義雄氏就任する。
- 4 月 1 日 消防職員数 5 6 名。団員数 2 4 0 名
- 7 月 1 日 条例改正により、団員定数 2 4 0 名となる。
- 7 月 20 日 水難事故に備え、アルミ救助艇を購入、署に配置する。
- 8 月 4 日 福山通運株式会社より購入資金の寄附をいただき、2 0 m 級屈折はしご付消防ポンプ自動車を購入、署に配置する。

昭和 5 4 年

- 12 月 7 日 小型動力ポンプ付積載車購入、第 1 分団第 4 部、第 1 分団第 5 部にそれぞれ配置する。
- 1 月 1 日 消防本部次長の小倉義雄氏三代目署長兼任となる。
- 3 月 20 日 埼玉県石油販売組合草加支部より連絡車更新のため、消防査察車トヨタカローラバン寄贈される。
- 3 月 31 日 消防長の横村嶺山氏退職する。
- 4 月 1 日 三代目消防長に大山竹雄氏就任する。消防職員数 6 4 名、定数 6 5 名、消防団員数 2 3 4 名。
- 4 月 1 日 八潮市防火協会発足する。会員事業所数 1 4 0 社
- 9 月 27 日 C D - I 型消防ポンプ自動車購入、大瀬出張所開所に備える。
- 10 月 1 日 八潮市消防署大瀬出張所 (敷地面積 7 0 8 . 9 3 m² 鉄骨平屋建て・建築延面積 1 5 8 . 5 7 m²) を大瀬 1 4 2 2 番地に開所、消防ポンプ自動車 1 台、職員 1 3 名を配置する。
- 10 月 24 日 消防連絡車トヨタライトエースバン購入、大瀬出張所に配置する。
- 11 月 13 日 小型動力ポンプ付積載車購入、第 1 分団第 6 部、第 3 分団第 2 部にそれぞれ配置する。

昭和 5 5 年

- 3 月 24 日 日本損害保険協会より、B D - I 型消防ポンプ自動車火災保険号寄贈され署に配置する。
- 4 月 1 日 消防職員数 6 9 名 (大瀬出張所 1 5 名) 定数 6 9 名、消防団員数 2 3 2 名
- 5 月 23 日 八潮市危険物安全協会 1 0 周年記念事業により、指令車日産ローレル寄贈される。
- 6 月 30 日 自転車置場 (2 9 . 1 6 m²) を新築し、庁舎建築延面積 9 7 5 . 3 0 m²となる。
- 9 月 2 日 小型動力ポンプ付積載車購入、第 2 分団第 2 部、第 3 分団第 1 部、第 3 分団第 4 部にそれぞれ配置する。
- 9 月 27 日 I - B 型水槽付消防ポンプ自動車購入、署に配置する。
- 10 月 1 日 4 週 5 休制を試行する。
- 11 月 20 日 I 型化学消防ポンプ車廃車、南川崎保育所に寄贈する。

昭和 5 6 年

- 1 月 4 日 消防出初式を開始する。
- 3 月 17 日 4 5 年購入の 2 B 型救急自動車更新する。
- 4 月 1 日 消防団員数 2 3 1 名

4 月 29 日 消防団長の大山謹吾氏、藍綬褒章を受賞する。

8 月 2 日 消防団夏季訓練にポンプ操法大会が始まる。

昭和57年

3 月 3 日 消防本部・署・団、消防庁長官より、竿頭綬を受賞する。

3 月 31 日 消防団長の大山謹吾氏退団する。

4 月 1 日 三代目消防団長に昼間政次氏就任、副団長に峰岸兼敏氏就任する。

10 月 16 日 署のBD-I型消防ポンプ自動車をCD-I型消防ポンプ自動車に更新する。

昭和58年

4 月 1 日 消防団組織一部改正により、3分団19部編成となる。

7 月 27 日 作業車ダットサントラック更新、署に配置する。

8 月 19 日 全国消防救助技術大会に、はしご登はん、ほふく救出の二種目出場し入賞する。

10 月 26 日 小型動力ポンプ付積載車購入、第2分団第7部に配置する。

11 月 1 日 第2分団第7部（圪地区）器具置場完成する。

昭和59

2 月 28 日 49年購入の2B型救急車更新する。

4 月 1 日 消防団員数236名

8 月 23 日 第13回埼玉県消防操法大会に第2分団2部小型動力ポンプの部に出場し入賞する。

10 月 31 日 消防団第2分団第6部BS-I型消防ポンプ自動車をCD-I型消防ポンプ自動車に更新する。

12 月 5 日 八潮ライオンズクラブ10周年記念事業により指令車スバルレックス寄贈される。

昭和60年

1 月 17 日 首都高速6号三郷線開通する。

3 月 31 日 消防団長の昼間政次氏退団する。

4 月 1 日 四代目消防団長に恩田嘉三郎氏就任、副団長に豊田誠一氏就任する。

4 月 1 日 消防職員数73名、定数75名、消防団員数233名

4 月 1 日 埼玉県下全市町村と消防相互応援協定を締結する。

9 月 12 日 消防団第3分団第3部BS-I型消防ポンプ車をCD-I型消防ポンプ車に更新する。

10 月 1 日 消防職員数71名。（大瀬出張所13名）

10 月 1 日 署に特別救助隊発足配置する。

昭和61年

1 月 31 日 救助工作車購入、署に配置する。

4 月 1 日 消防職員数71名。消防団員数234名

5 月 21 日 八潮市危険物安全協会15周年記念事業により、カラーテレビ、ビデオ一式寄贈される。

5 月 22 日 八潮市防火協会7周年記念事業により、予防広報車日産ダットサンバネット寄贈される。

9 月 29 日 消防団第1分団第2部BS-I型消防ポンプ自動車をCD-I型消防ポンプ自動車に更新する。

昭和62年

3 月 15 日 車庫（40.92㎡）を増築し、庁舎建築延面積1,016.22㎡となる。

4 月 1 日 消防職員数75名。消防団員数233名

4 月 1 日 八潮市少年救急クラブ発足する。

- 8 月 21 日 全国消防救助大会に、はしご登はんの部出場し入賞する。
- 9 月 28 日 消防団第2分団第4部BS-I型消防ポンプ自動車をCD-I型消防ポンプ自動車に更新する。
- 11 月 3 日 元消防副団長織田正吾氏、勲五等瑞宝章を受賞する。
- 昭和63年
- 4 月 1 日 市の機構改革に伴い、消防本部次長制を廃止し、2課5係となる。消防職員数74名
- 6 月 28 日 埼玉県石油商組合八潮支部より消防査察車更新のため、トヨタマークIIバン寄贈され
- 7 月 29 日 消防団第3分団第6部小型動力ポンプ付積載車を全自動小型動力ポンプ付積載車に更新する。
- 10 月 1 日 4週6休制を試行する。
- 平成元年
- 1 月 8 日 平成元年となる。
- 4 月 1 日 消防職員数73名、消防団員数235名
- 8 月 2 日 消防団第2分団第5部小型動力ポンプ付積載車を全自動小型動力ポンプ付積載車に更新する。
- 9 月 1 日 (財)日本消防協会より、2B型救急自動車寄贈され、署に配置する。
- 11 月 3 日 元消防団長大山謹吾氏、勲五等雙光旭日章を受賞する。
- 平成2年
- 3 月 29 日 指揮車ニッサンキャラバン購入、署に配置する。
- 3 月 31 日 消防長の大山竹雄氏退職する。
- 4 月 1 日 四代目消防長に会田文治氏就任する。消防職員数76名定数77名、消防団員数234
- 4 月 1 日 第2、第4土曜日閉庁となる。
- 7 月 9 日 消防団第3分団第5部小型動力ポンプ付積載車を全自動小型動力ポンプ付積載車に更新する
- 9 月 1 日 緊急通報システム開始する。
- 10 月 4 日 八潮市危険物安全協会20周年記念事業により指令車更新のためトヨタクラウン寄贈される。
- 10 月 14 日 消防団員及び家族慰労会を開始する。
- 11 月 13 日 各事業所による屋内消火栓操法大会を開始する。
- 12 月 26 日 署のⅢ型化学消防ポンプ自動車をⅡ型化学消防ポンプ自動車に更新する。
- 平成3年
- 3 月 31 日 消防団長の恩田嘉三郎氏退団する。
- 4 月 1 日 五代目消防団長に峯岸兼敏氏就任、副団長に篠木正義氏就任する。
- 4 月 1 日 消防職員数78名、定数79名、消防団員数236名
- 7 月 1 日 生涯学習都市宣言。
- 8 月 22 日 消防団第1分団第3部、第2分団第1部の小型動力ポンプ付積載車を全自動小型動力積載車に更新する。
- 12 月 10 日 大瀬出張所のCD-I型消防ポンプ自動車を更新する。
- 平成4年
- 4 月 1 日 消防職員数83名、定数84名、消防団員数235名
- 8 月 9 日 第17回埼玉県消防操法大会に第2分団第6部自動車ポンプの部に出場し入賞する。
- 8 月 27 日 大瀬出張所の連絡車を三菱パジェロに更新する。

- 9 月 29 日 消防団第 1 分団第 4 部、第 2 分団第 3 部の小型動力ポンプ付積載車を全自動小型動力積載車に更新する。
- 11 月 3 日 元消防団長の昼間政次氏、勲五等瑞宝章を受賞する。
- 11 月 27 日 東京外郭環状道路開通する。
- 平成 5 年
- 3 月 3 日 消防本部・団、消防庁長官より表彰旗を受賞する。
- 3 月 15 日 大瀬出張所仮眠室（37.94㎡）を増築し、建築延面積196.51㎡となる。
- 3 月 25 日 56年購入の2B型救急自動車を更新する。
- 3 月 30 日 五代目消防長に市長の藤波彰氏（兼任）が就任する。
- 4 月 1 日 消防職員数84名（うち17名は大瀬出張所）、定数86名、消防団員数236名
- 4 月 1 日 完全週休二日制を実施する。
- 7 月 1 日 六代目消防長に助役の恩田恒治氏（兼任）が就任する。
- 8 月 31 日 消防団第 1 分団第 5 部、第 1 分団第 6 部の小型動力ポンプ付積載車を全自動小型動力積載車に更新する。
- 10 月 1 日 大瀬出張所に救急隊を配置する。
- 12 月 27 日 署の I-B 型水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
- 平成 6 年
- 4 月 1 日 七代目消防長に山中貞朗氏が就任する。
- 4 月 1 日 消防署長の小倉義雄氏、生活経済部次長に就任する。
- 4 月 1 日 四代目消防署長に田中義夫氏が就任する。
- 4 月 1 日 消防職員数85名、定数87名、消防団員数232名
- 4 月 29 日 元消防団長の恩田嘉三郎氏勲六等単光旭日章を受賞する。
- 7 月 8 日 救命ボートけん引用ボートトレーラーを配置する。
- 8 月 24 日 第 2 3 回全国消防救助技術大会で、ロープブリッジ救出に出場し入賞する。
- 8 月 26 日 消防団第 2 分団第 2 部、第 3 分団第 2 部の小型動力ポンプ付積載車を全自動小型動力積載車に更新する。
- 11 月 29 日 八潮ライオンズクラブ 20 周年記念事業により、ニッサン AD ワゴン寄贈される。
- 平成 7 年
- 3 月 28 日 昭和 59 年購入の 2 B 型救急自動車を更新する。
- 3 月 31 日 消防団長の峯岸兼敏氏退団する。
- 4 月 1 日 六代目消防団長に豊田誠一氏就任、副団長に豊田常雄氏就任する。
- 4 月 1 日 条例改正により、団員定数 237 名となる。
- 4 月 1 日 消防職員数 87 名、定数 87 名、消防団員数 233 名
- 5 月 25 日 危険物安全協会 25 周年記念事業により、消防査察車軽自動車スズキエブリバン寄贈される。
- 8 月 25 日 消防団第 3 分団第 1 部、第 3 分団第 4 部の小型動力ポンプ付積載車を全自動小型動力積載車に更新する。
- 10 月 16 日 消防作業車イスズエルフに更新、署に配置する。
- 平成 8 年
- 3 月 22 日 CD-I 型消防ポンプ自動車を更新する。
- 3 月 31 日 消防副団長の豊田常雄氏退団する。

- 4 月 1 日 消防職員数 87 名、定数 87 名、消防団員数 230 名
- 8 月 9 日 関東いすゞ自動車株式会社創立 50 周年記念事業によりいすゞビックホーン寄贈される。
- 10 月 4 日 消防団第 2 分団第 7 部の小型動力ポンプ付積載車を全自動小型動力ポンプ付積載に更新する。

平成 9 年

- 4 月 1 日 消防職員数 87 名、定数 87 名、消防団員数 228 名

平成 10 年

- 2 月 19 日 38m 級はしご付消防自動車を購入、署に配置する。
- 3 月 30 日 消防団第 2 分団第 6 部の CD-I 型消防ポンプ自動車を更新する。
- 3 月 31 日 消防長の山中貞朗氏退職する。
- 4 月 1 日 八代目消防長に小倉義雄氏が就任する。
- 4 月 1 日 消防職員数 88 名（うち 19 名は大瀬出張所）、定数 88 名、消防団員数 224 名
- 4 月 1 日 携帯電話からの 119 番の受信を開始する。
- 4 月 30 日 消防長の小倉義雄氏退職する。（5 月 1 日付で収入役に就任）
- 5 月 1 日 消防署長の田中義夫氏、九代目消防長に就任する。
- 5 月 1 日 消防本部次長の鈴木光夫氏、五代目署長に就任する。
- 11 月 18 日 八潮市防火協会 20 周年記念事業により、三菱ローザマイクロバス寄贈される。
- 11 月 21 日 稲荷伊草第一土地区画整理事業地内の町名地番変更に伴い、草加市、八潮市消防相互応援協定の一部を改正する協定を締結する。

平成 11 年

- 2 月 24 日 高規格救急自動車を購入、署に配置する。
- 2 月 26 日 消防団第 3 分団第 3 部の CD-I 型消防ポンプ自動車を更新する。
- 3 月 3 日 消防用無線設備を整備し、救急波を増設する。
- 3 月 31 日 消防団長の豊田誠一氏退団する。
- 4 月 1 日 七代目消防団長に朝田健一氏就任、副団長に小幡幸一氏就任する。
- 4 月 1 日 消防職員数 87 名、定数 88 名、消防団員数 227 名
- 4 月 1 日 高規格救急自動車の運用を開始する。

平成 12 年

- 4 月 1 日 消防職員数 88 名、定数 88 名、消防団員数 224 名
- 4 月 29 日 前消防団長の豊田誠一氏、勲五等瑞宝章を受賞する。
- 8 月 29 日 消防団第 1 分団第 2 部の CD-I 型消防ポンプ自動車を更新する。
- 10 月 6 日 八潮市危険物安全協会 30 周年記念事業により、日産セドリック寄贈される。

平成 13 年

- 3 月 28 日 更新車両として、救助工作車（Ⅱ型）を購入、署に配置する。
- 3 月 30 日 八潮市防火協会より日産ウイングロード寄贈される。
- 4 月 1 日 消防職員数 88 名、定数 88 名、消防団員数 232 名
- 5 月 18 日 八潮市危険物安全協会と八潮市防火協会の両協会が統合され、八潮市防火安全協会が設立する。
- 9 月 20 日 消防団第 2 分団第 4 部の CD-I 型消防ポンプ自動車を更新する。

平成 14 年

- 3 月 25 日 聴覚障害者用 F A X の運用を開始する。

4 月 1 日 消防職員数 88 名(うち 21 名は大瀬出張所)、定数 88 名、消防団員数 226 名
6 月 26 日 消防団第 3 分団第 6 部の小型動力ポンプ付積載車を全自動小型動力ポンプ付積載車に更新する。

平成 15 年

3 月 31 日 消防団長の朝田健一氏退団する。
4 月 1 日 八代目消防団長に篠木正義氏就任、副団長に野口正義氏就任する。
4 月 1 日 消防職員数 88 名、定数 88 名、消防団員数 227 名

平成 16 年

3 月 31 日 消防署長の鈴木光夫氏退職する。
4 月 1 日 消防職員数 88 名、定数 88 名、消防団員数 226 名
4 月 1 日 六代目署長に消防長の田中義夫氏(兼任)が就任する。
7 月 6 日 消防団第 1 分団第 1 部・第 3 分団第 5 部の全自動小型動力ポンプ付積載車を更新する。
7 月 9 日 八潮指揮 1 を更新し、署に配置する。
8 月 18 日 第 23 回埼玉県消防操法大会に第 2 分団第 4・6 部(合同チーム)自動車ポンプの部に出場し入賞する。

平成 17 年

3 月 3 日 救急大瀬 1(2B 型)を更新し、トヨタハイメディック高規格救急車を大瀬出張所に配置する。
4 月 1 日 消防長の田中義夫氏生活経済部理事(危機管理担当)に就任する。
4 月 1 日 消防職員数 91 名、定数 94 名、消防団員数 222 名
4 月 1 日 十代目消防長に中嶋正昭氏就任する。
4 月 1 日 七代目署長に榎本孝夫氏就任する。
8 月 18 日 消防団第 1 分団第 3 部・第 2 分団第 1 部の全自動小型動力ポンプ付積載車を更新する。
8 月 24 日 つくばエクスプレス開業する。
10 月 17 日 大瀬 1 を更新し、大瀬出張所に配置する。

平成 18 年

4 月 1 日 消防職員数 93 名、定数 94 名、消防団員数 220 名
9 月 1 日 八都県市防災訓練(埼玉会場八潮市にて)実施される。
9 月 5 日 大瀬 2(連絡車)を更新し、大瀬出張所に配置する。
9 月 6 日 消防団第 1 分団第 4 部・第 2 分団第 3 部の全自動小型動力ポンプ付積載車を更新する。
12 月 20 日 大瀬出張所に訓練塔完成する。

平成 19 年

2 月 14 日 救急八潮 2(2B 型)を更新し、ニッサンパラメディック高規格救急車を本署に配置する。
3 月 9 日 新消防庁舎用地 646 m²を取得する。
3 月 26 日 消防団第 2 分団第 7 部の機械器具置場、区画整理により移転する。
3 月 31 日 消防団長の篠木正義氏退団する。
4 月 1 日 九代目消防団長に小幡幸一氏就任、副団長に平野光一氏就任する。
4 月 1 日 消防職員数 93 名、定数 94 名、消防団員数 218 名
4 月 1 日 消防長の中嶋正昭氏建設部長に就任する。
4 月 1 日 十一代目消防長に廣瀬不二雄氏就任する。

- 4 月 29 日 元消防団長峯岸兼敏氏、瑞宝単光章を受章する。
- 8 月 23 日 消防団第 1 分団第 5 部・第 1 分団第 6 部の全自動小型動力ポンプ付積載車を更新する。
- 8 月 29 日 八潮 3 (資機材搬送車) を更新し、本署に配置する。
- 9 月 21 日 新消防庁舎建設着工
- 12 月 21 日 八潮 1 (1-B 型水槽付消防ポンプ自動車) を更新し、本署に配置する。

平成 20 年

- 4 月 1 日 消防職員数 93 名、定数 94 名、消防団員数 217 名
- 7 月 31 日 八潮予防 1 (いすゞビッグホーン) を更新し、ニッサンバネット車を本部に配置する。
- 8 月 1 日 消防団第 2 分団第 2 部・第 3 分団第 2 部の全自動小型動力ポンプ付積載車を更新する。
- 11 月 4 日 消防本部公用車 (ニッサン AD ワゴン) を廃車し、レンタル車とする。
- 11 月 13 日 高規格救急自動車 (ニッサン) を更新し、トヨタハイメディック高規格救急車を本署に配置する。

平成 21 年

- 3 月 31 日 消防団長の小幡幸一氏退団する。
- 4 月 1 日 十代目消防団長に野口正義氏就任、副団長に小倉日出男氏就任する。
- 4 月 1 日 消防職員数 95 名 (うち 1 名は再任用職員)、定数 94 名、消防団員数 214 名
- 4 月 1 日 消防本部に警防課を設置する。
- 7 月 1 日 消防庁舎落成 (鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建建築延面積 3787.86 m²)
- 7 月 28 日 八潮市防火安全協会からトヨタハイエースを寄贈され、消防本部に配置する。
- 8 月 1 日 消防団員に、初めて、女性 5 名が任命される。
- 8 月 21 日 消防団第 3 分団第 1 部・第 3 分団第 4 部の全自動小型動力ポンプ付積載車を更新する。
- 11 月 3 日 元消防団長の朝田健一氏瑞宝単光章を受章する。

平成 22 年

- 3 月 31 日 消防長の廣瀬不二雄氏退職する。
- 3 月 31 日 消防署長の榎本孝夫氏退職する。
- 4 月 1 日 消防職員数 96 名 (うち 20 名は大瀬出張所) (うち 2 名は再任用職員)、定数 94 名、消防団員数 224 名 (うち女性団員 6 名)
- 4 月 1 日 十二代目消防長に藤嶺公輝氏就任する。
- 4 月 1 日 八代目署長に田立誠氏就任する。
- 9 月 17 日 消防団第 2 分団第 7 部の全自動小型動力ポンプ付積載車を更新する。
- 12 月 3 日 八潮化学 1 (II 型化学消防ポンプ自動車) を更新する。

平成 23 年

- 3 月 17 日 消防団第 3 分団第 6 部用地として、八潮市土地開発公社と譲渡契約を締結する。
- 3 月 31 日 消防団長の野口正義氏退団する。
- 3 月 31 日 消防長の藤嶺公輝氏退職する。
- 3 月 31 日 消防署長の田立 誠氏退職する。
- 4 月 1 日 消防職員数 96 名 (うち 2 名は再任用職員)、定数 94 名、消防団員数 223 名
- 4 月 1 日 十三代目消防長に羽場徳雄氏就任する。
- 4 月 1 日 九代目署長に豊田勝次氏就任する。
- 4 月 1 日 十一代目消防団長に平野光一氏就任、副団長に大久保誠氏就任する。
- 12 月 8 日 八潮 2 (ポンプ車) を更新し、本署に配置する。

平成24年

- 3月31日 消防長の羽場徳雄氏退職する。
- 3月31日 八潮市消防署大瀬出張所を閉所する。
- 4月1日 大瀬出張所と八潮市消防署を統合する。
- 4月1日 十四代目消防長に豊田勝次氏就任する。
- 4月1日 十代目署長に安藤一明氏就任する。
- 4月1日 消防職員数96名(うち2名は再任用職員)、定数94名、消防団員数221名
- 4月1日 消防本部に指令課を設置する。
- 4月29日 元消防団長篠木正義氏、瑞宝単光章を受章する。

平成25年

- 3月20日 消防団第2分団第6部のCD-I型消防ポンプ自動車を更新する
- 4月1日 消防職員数96名(うち2名は再任用職員)、定数94名、消防団員数222名
- 4月29日 元消防長田中義夫氏、瑞宝双光章を受章する
- 4月29日 元消防団長野口正義氏、瑞宝単光章を受章する
- 8月22日 第42回全国消防救助技術大会水上の部「基本泳法」「複合検索」に出場し、入賞する。

平成26年

- 1月22日 消防団第3分団第3部のCD-I型消防ポンプ自動車を更新する
- 3月31日 消防長の豊田勝次氏退職する。
- 4月1日 十五代目消防長に安藤一明氏就任する。
- 4月1日 十一代目署長に名倉健二氏就任する。
- 4月1日 消防職員数95名(うち再任用職員1名、)定数94名、消防団員数231名

八潮市の位置及び面積

八潮市は、埼玉県の南東部、東京都心から約15kmの位置にあり、中川低地の南端に位置し中川と綾瀬川にはさまれた自然堤防と後背湿地からなっています。



面積	海拔	経緯度
18.03K m ²	2.3m以下	東経 139度50分32秒
東西 5.23 km 南北 7.45 km		北緯 35度49分11秒

消防庁舎所在地

八潮市消防本部	八潮市大字鶴ヶ曾根 1185 番地	
八潮市消防署		
八潮市消防団		
敷地	6,655.84 m ²	
建築延面積	3,787.86 m ²	
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建	

人口の推移

毎年 4月1日現在

年別 \ 区分	人口	男	女	世帯数
平成 22 年度	82,440	42,788	39,652	33,856
平成 23 年度	82,813	42,939	39,874	34,298
平成 24 年度	83,819	43,484	40,335	35,225
平成 25 年度	84,224	43,680	40,544	35,793
平成 26 年度	84,936	44,052	40,884	36,599

消防力の現勢（基準・現有力）

平成 26 年 4 月 1 日現在

区 分	基準数	現有力	充足率	基準人員	現有人員	充足率
署 所	3	1	33%	—	—	—
消 防 ポ ン プ 車	6	※4	67%	基準台数に 対する人員 133人 現有台数に 対する人員 103人	66人	基準台数に 対する人員 50% 現有台数に 対する人員 64%
指 揮 車	1	1	100%			
は し ご 車	1	1	100%			
化 学 車	2	1	50%			
救 助 工 作 車	1	1	100%			
救 急 車	3	3	100%			
予 防 要 員	—	—	—	29人	7人	24%
通 信 員	—	—	—	5人	10人	200%
庶 務 等 の 人 員	—	—	—	13人	12人	92%
合 計				基準台数に 対する人員 180人 現有台数に 対する人員 150人	95人	基準台数に 対する人員 53% 現有台数に 対する人員 64%

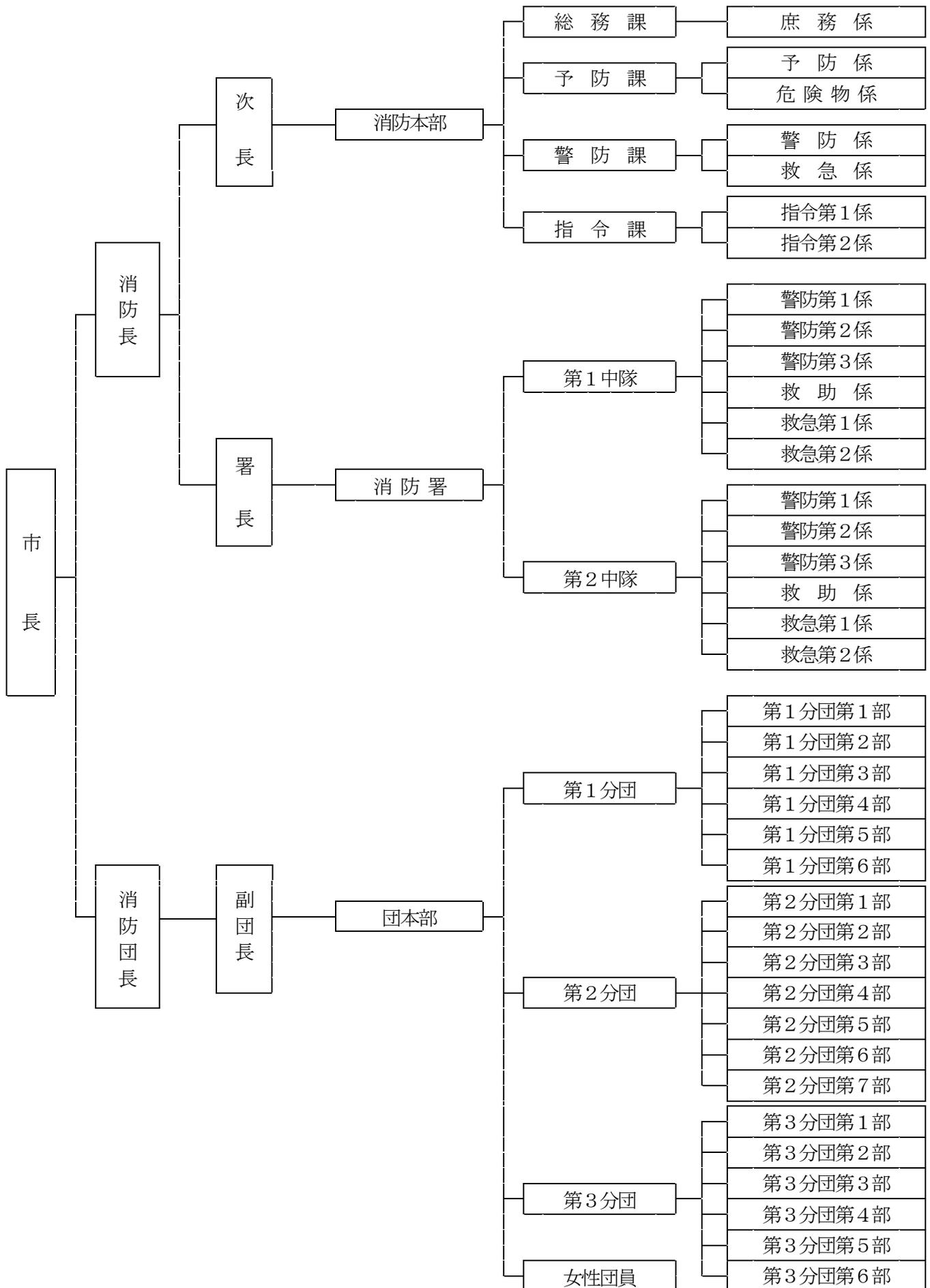
※消防ポンプ車台数のうち1台は化学車を換算
現有人員は再任用職員1名を含む

消防相互応援協定

八潮市では、火災等の災害による被害を最小限度に防止する為、下記の都・市・町と相互応援協定を消防組織法第39条に基づいて締結しています。

普通応援 特別応援	応援される区域	応援する区域
東京都 〔東京消防庁〕 協定年月日 〔S41. 3. 25〕	大字西袋、大字浮塚、大字圀、大字古新田、大字大瀬、大字伊勢野、大字南川崎、大字大曾根、大字大原、大字大曾根のうち市道20号線以南、八潮8丁目 首都高速6号三郷線のうち加平ランプから八潮南ランプの間の下り線	足立区のうち神明1～3丁目、花畑1～8丁目、南花畑1～5丁目、六木1～4丁目、葛飾区のうち水元2丁目、5丁目、東水元4丁目～6丁目、西水元2～6丁目、首都高速6号三郷線のうち八潮南ランプから加平ランプの間の上り線
草加市 〔草加市消防本部〕 協定年月日 〔S52. 6. 1〕	大字八條、大字鶴ヶ曾根、大字小作田、大字松之木、大字伊草、大字新町、大字上馬場、大字中馬場、大字大原、大字大曾根、大字西袋、大字柳之宮、大字南後谷、中央1～4丁目、八潮1～8丁目、緑町1～5丁目	柿木町、青柳町、青柳1～8丁目、八幡町、中根町、弁天町、松江町、稲荷1～6丁目、神明1～2丁目、住吉1～2丁目、高砂1～2丁目、中央1～2丁目、吉町1～5丁目、手代町、瀬崎町、谷塚町
三郷市 〔三郷市消防本部〕 協定年月日 〔S45. 9. 1〕	大字八條、大字鶴ヶ曾根、大字新町、大字二丁目、大字木曾根、大字南川崎、大字伊勢野、大字大瀬、大字古新田、大字圀の一部、大字中馬場、大字上馬場の一部、八潮1～5丁目、中央1～2丁目、首都高速6号三郷線のうち三郷インターチェンジから八潮ランプの間の上り線	寄巻、戸ヶ崎、戸ヶ崎1～5丁目、栄1丁目の一部、栄3丁目の一部、谷口の一部、花和田の一部、彦江1丁目、彦沢1丁目、番匠免1丁目、上口1丁目、彦倉1丁目、彦野1丁目、天神1丁目、彦川戸1丁目、上彦名、彦成1～2丁目、彦音1～2丁目、彦糸1～2丁目、首都高速6号三郷線のうち八潮ランプから三郷インターチェンジの間の下り線
特別応援	応援される区域	応援する区域
越谷市 〔越谷市消防本部〕 協定年月日 〔S53. 6. 28〕	市内全域	市内全域
吉川市・松伏町 吉川・松伏 消防組合消防本部 協定年月日 〔S53. 6. 30〕	市内全域	市・町内全域
埼玉県下全市町村 〔S60. 4. 1〕	市内全域	埼玉県下全市町村
東京外環自動車道 〔H4. 11. 27〕	大字八條の一部 当市通行区間1.4km	当市1.4km区間を除く 東京外環自動車道（三郷～和光間）

消 防 の 組 織



事 務 分 掌

消 防 本 部

総務課

○ 総 務 係

- (1) 公印の保管に関する事。
- (2) 人事及び企画に関する事。
- (3) 文書に関する事。
- (4) 予算及び経理に関する事。
- (5) 消防財産の管理に関する事。
- (6) 職員の任免、分限及び賞罰に関する事。
- (7) 職員の服務に関する事。
- (8) 消防統計に関する事。
- (9) 職員の厚生に関する事。
- (10) 消防団に関する事。
- (11) 職員の給与品及び貸与品に関する事。
- (12) 他の課及び係に属しない事。

予防課

○ 予 防 係

- (1) 建築物確認等に関する事。
- (2) 防火対象物の予防査察及び消防用設備に関する事。
- (3) 防火対象物の消防計画及び訓練の指導に関する事。
- (4) 防火管理者に関する事。
- (5) 火災統計に関する事。
- (6) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (7) 罹災証明等に関する事。
- (8) 防火協力団体に関する事。
- (9) その他火災予防に関する事。
- (10) 課の庶務に関する事。

○ 危険物係

- (1) 危険物製造所等の許認可に関する事。
- (2) 危険物製造所等の査察及び指導に関する事。
- (3) 危険物取扱者に関する事。
- (4) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関する事。
- (5) 液化石油ガスに関する事。
- (6) 火薬類の規制に関する事。
- (7) 防火安全協力団体に関する事。
- (8) その他危険物等の安全管理に関する事。

警防課

○ 警 防 係

- (1) 警防計画に関すること。
- (2) 消防水利に関すること。
- (3) 消防相互応援協定に関すること。
- (4) 宅地開発事業に係る指導に関すること。
- (5) 消防機器の整備及び管理に関すること。
- (6) 高圧ガス製造施設の管理に関すること。
- (7) 救助統計に関すること。
- (8) 緊急消防援助隊に関すること。
- (9) その他警防業務に関すること。
- (10) 課の庶務に関すること。

○ 救 急 係

- (1) 救急業務の計画及び調査に関すること。
- (2) 救急関係機関との連絡調整に関すること。
- (3) 応急手当の普及推進に関すること。
- (4) メディカルコントロールに関すること。
- (5) 救急搬送証明に関すること。
- (6) 救急統計に関すること。
- (7) その他救急業務に関すること。

指令課

- (1) 火災、救急、救助その他の消防災害の出動指令に関すること。
- (2) 消防通信の統制に関すること。
- (3) 通信施設の維持管理に関すること。
- (4) 気象情報等の収集及び伝達に関すること。
- (5) 火災警報に関すること。
- (6) 埼玉県救急医療情報システムに関すること。
- (7) 衛星通信ネットワークシステムに関すること。
- (8) 消防庁舎の監視に関すること。
- (9) 無線のシステム更新・変更に関すること。
- (10) 各種統計に関すること。
- (11) その他指令業務に関すること。
- (12) 課の庶務に関すること。

消 防 署

- (1) 消防水利の維持管理に関すること。
- (2) 消防地理に関すること。
- (3) 火災の予防、警戒及び鎮圧に関すること。
- (4) 風水害、地震等の災害活動に関すること。
- (5) 災害の原因及び調査に関すること。
- (6) 予防査察に関すること。
- (7) 危険物の取扱いの指導及び規制に関すること。
- (8) 救急業務に関すること。
- (9) 救助業務に関すること。
- (10) 大震火災対策に関すること。
- (11) 特殊災害に関すること。
- (12) その他消防業務に関すること。

年度別当初予算

単位：千円

区分 年度	一般会計 A)	消防費(B)	内 訳			B/A
			常備消防費	非常備消防費	消防施設費	
平成 22 年度	25,380,000	1,067,191	928,612	35,000	103,579	4.2%
平成 23 年度	26,090,000	1,032,444	919,462	35,199	77,783	4.0%
平成 24 年度	26,100,000	988,218	899,431	35,575	53,212	3.8%
平成 25 年度	26,510,000	960,943	878,663	35,622	47,658	3.6%
平成 26 年度	26,530,000	1,228,881	1,110,081	37,036	81,764	4.6%

平成 25 年度 主要な施設等の整備

単位：千円

事業名	事業内容	事業費
施設関係 消防水利の整備	☆消火栓整備 31 基	12,035
備品関係 機械器具の整備	☆消防ポンプ自動車	22,450
	☆特殊災害用装備品	520
	☆消防用ホース	840
	☆空気呼吸器ボンベ〔5本〕	536
	☆消防用ホース洗浄機	1,723
	☆タブレット型モバイル端末	359



職 員 配 置 状 況

平成26年4月1日現

階 級 配置別		消 防 吏 員							事務 職員	合計	
		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士			
消防本部	消防長		1							1	
	次 長			1						1	
	総務課	総務課長			1						1
		課長補佐									
		庶務係			1					2	3
	予防課	課長			1						1
		課長補佐			1						1
		予防係				1	1	1			3
		危険物係				1		1			2
	警防課	課長			(1)						(1)
		課長補佐			1						1
		警防係				1					1
		救急係				1					1
	指令課	課長			1						1
		課長補佐			1						1
		通信指令 第1係				2	1		2		5
通信指令 第2係				(1)	2	1		1		4(1)	
消防署	署長			1						1	
	副署長			2						2	
	担当司令			(2)						(2)	
	主幹			2						2	
	中隊長			2(2)						2(2)	
	警防係				9	10	2	9		30	
	救助係				4	4	1	1		10	
	救急係				7	7	6			20	
合 計			1	15 (6)	28	24	11	13	2	94 (6)	

() は兼務

職 員 年 齡 状 況

平成 26 年 4 月 1 日現在

階級 年齢	消防吏員							事務 職員	合計	構成比 %
	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士			
18 歳							2		2	2%
19 歳										
20 歳							2		2	13.8%
21 歳							2		2	
22 歳							2		2	
23 歳							1		1	
24 歳							1	5	6	
25 歳					1		3	2	6	16%
26 歳							1		1	
27 歳					3		2		5	
28 歳					1		1		2	
29 歳					1				1	
30 歳					3				3	11.7%
31 歳					2				2	
32 歳					3				3	
33 歳					2				2	
34 歳					1				1	
35 歳									0	5.3%
36 歳									0	
37 歳									0	
38 歳				1					1	
39 歳				4					4	
40 歳				4					4	12.8%
41 歳			1	3					4	
42 歳				3					3	
43 歳									0	
44 歳			1						1	
45 歳				2				1	3	8.5%
46 歳			1						1	
47 歳				1	1			1	3	
48 歳									0	
49 歳				1					1	
50 歳									0	9.6%
51 歳			2						2	
52 歳			2						2	
53 歳			1	1					2	
54 歳				2	1				3	
55 歳		1	2		1				4	20.2%
56 歳			2	2	1				5	
57 歳			1						1	
58 歳			1	1	2				4	
59 歳			1	3	1				5	
60 歳									0	
合 計		1	15	28	24	11	13	2	94	
平 均		55.0	52.4	46.3	37.4	24.9	22.2	46	39.3	

職員勤続年数状況

平成26年4月1日現在

階級 勤続年数	消防吏員							事務 職員	合計
	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士		
1年未満							4	1	5
1年以上2年未満							2		2
2年以上3年未満							5		5
3年以上4年未満						4	2		6
4年以上5年未満						5			5
5年以上6年未満					2	2			4
6年以上7年未満					2			1	3
7年以上8年未満					2				2
8年以上9年未満					3				3
9年以上10年未満					3				3
10年以上11年未満					3				3
11年以上12年未満									
12年以上13年未満					1				1
13年以上14年未満									
14年以上15年未満					1				1
15年以上16年未満									
16年以上17年未満									
17年以上18年未満									
18年以上19年未満									
19年以上20年未満									
20年以上21年未満				2					2
21年以上22年未満				4					4
22年以上23年未満				5					5
23年以上24年未満			1	3					4
24年以上25年未満			1	2					3
25年以上26年未満									
26年以上27年未満									
27年以上28年未満			2	1					3
28年以上29年未満									
29年以上30年未満			1	2	1				4
30年以上		1	10	9	6				26
合計		1	15	28	24	11	13	2	94

職員教育訓練実施状況

平成26年4月1日現在

区分		年度別	昭和45 年度 ～ 平成15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	計	
消防 大学 校	上級幹部科		3											3	
	本科		3											3	
	警防科		4											4	
	予防科		4						1					5	
	火災調査科										1			1	
	危険物科									1				1	
	救急科		3											3	
	救助科		4						1					5	
	幹部科		3						1	2	1			7	
	新任消防長・学校長科						1			1	1			3	
県消防 学校	初任教育		100	3	3	3	2	2	4	5	4	5	4	135	
	専科 教育	警防科		17		1			1			1	1	1	22
		救助科		30		1		1		1	1	2	1	1	38
		無線通信課程		23											23
		予防査察科		32		1	1		1	1					36
		特殊災害科					1	1					1		3
		危険物課程		6											6
		火災調査科		14		1		1		1					17
		機関運用課程		15											15
		機関整備課程		5											5
		救急課程		70											70
		救急Ⅱ課程		28											28
	救急科(標準課程)		24	1		2	3	3	2	3	4	3	3	48	
	幹部 教育	中級幹部科		21			1		1	1	1				25
		初級幹部科		28	1	1			1	1	1	1	1	1	36
	特別 教育	実科指導員教育		18										1	19
		警防(活動教育)隊長 救助隊長 特別教育		3						1	1		1	1	7
水難救助員教育			12											12	
救急隊長課程			6											6	
はしご運用課程			8											8	
幹部特別教育			10	1			1				1			13	
救急救命士養成教育		7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	17		
計			501	7	9	9	11	10	16	17	17	14	13	624	

職員の各種資格取得状況

平成26年4月1日現在

免許の種類		階級	消防 吏 員						事務 職員	計	
			消防 監	司令長	司令	司令補	士長	副士長			士
自動車 運転免許	二種	大型免許					1			1	
		中型免許				1	1			2	
		普通免許				1	1			2	
	一種	大型自動車		1	9	22	16	3	5	56	
		中型自動車		1	14	28	24	9	5	2	83
		普通自動車		1	14	28	24	9	15	2	93
		大型特殊自動車									
		けん引自動車									
		普通自動二輪車			8	20	24	9	5	2	68
		原動機付自転車		1	14	28	24	9	15	2	93
危険物取扱者	甲										
	乙		1	5	2	2	1			11	
	丙				1	1				2	
消防設備士	甲										
	乙				1	1				2	
特殊無線技師				9	23	20	11	9		72	
アマチュア無線技師				1	1					2	
電気工事士					1					1	
小型船舶操縦士	1級				1					1	
	2級			6	14	6	1			27	
ガス溶接技能者				9	15	3				27	
移動式クレーン 操作資格者				8	12	8	2			30	
第2種酸素欠乏 危険作業主任者				9	11	8	1			29	
高圧ガス			1	2	2	4				9	
潜水士				7	7	3		1		18	
衛生管理者				1	1	3				5	
玉掛技能講習			1	6	7	5	2			21	
アーク溶接技能者					3	1				4	
救急業務資格者			1	15	31	19	6	5		77	
救急救命士				4	10	8	4			26	
救急救命士 (内、挿管認定)				(2)	(7)					(9)	
救急救命士 (内、薬剤認定)				(2)	(9)	(7)	(4)	(1)		(23)	

消防自動車配置状況

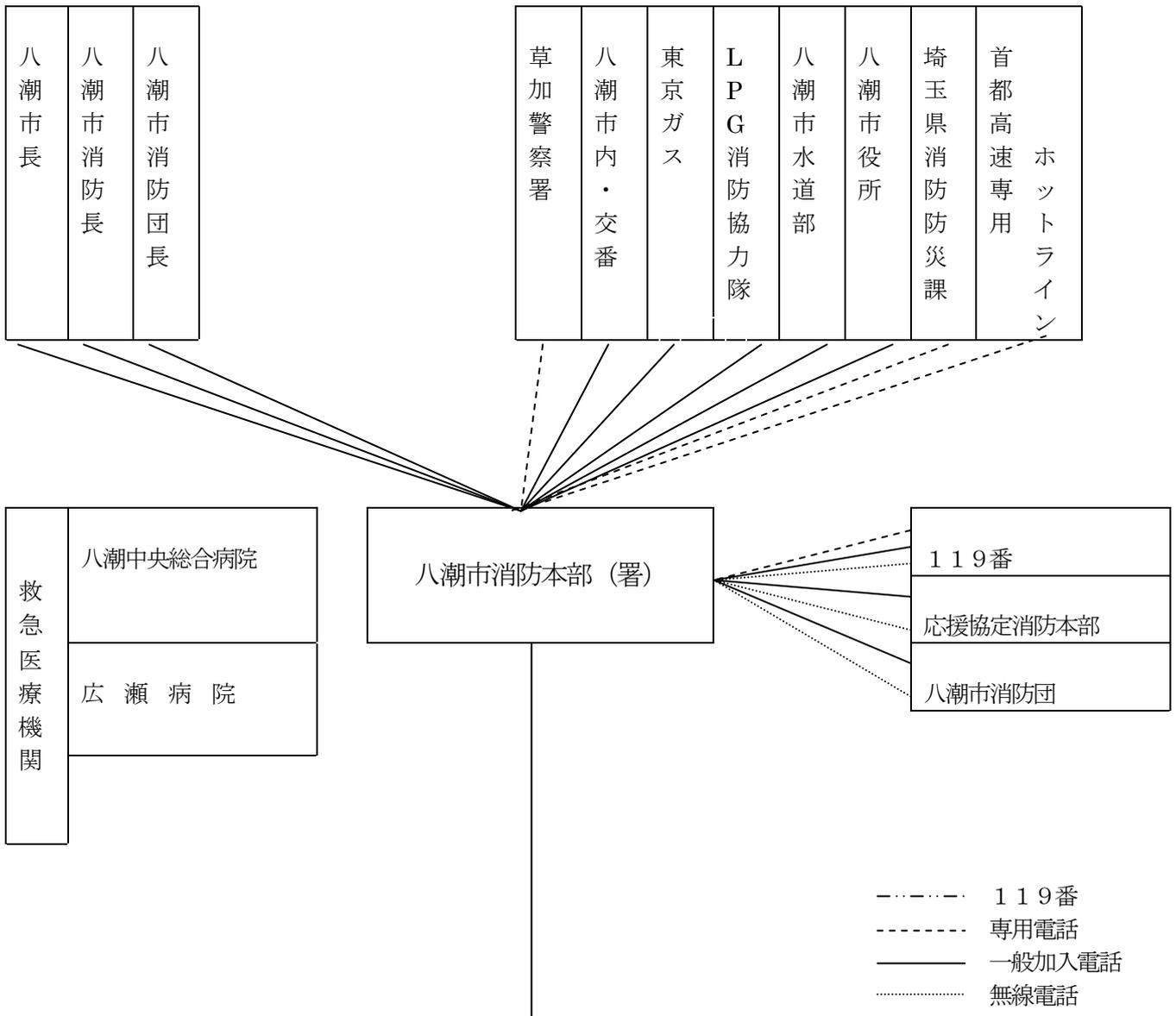
平成26年4月1日

所属	車両名称	車名及び登録番号	ポンプ級別	登録年月日	使用年数	備考
消防本部	公用車	ニッサンセドリック 春日部 330 せ 840		H12. 9. 25	13. 6	
	公用車	ニッサンウィングロード 春日部 501 つ 5316		H20. 11. 4	5. 4	レンタル車
	公用車	トヨタ ハイエース 春日部 333 ん 119		H21. 7. 28	4. 8	
	八潮予防 1 査察車	ニッサンバネット 春日部 831 そ 119		H20. 7. 31	5. 8	
	八潮予防 2 査察車	ニッサンウィングロード 春日部 830 す 840		H13. 3. 28	13. 0	
	八潮予防 3 査察車	スズキエブリバン 春日部 80 あ 82		H7. 5. 24	18. 10	
消防署	八潮 1 水そう車	日野 春日部 800 は 616	A-2 級 2 段バランス	H19. 12. 5	6. 3	水そう 1,500ℓ 薬液 100ℓ
	八潮 2 ポンプ車	日野 春日部 830 さ 8402	A-2 級 2 段バランス	H23. 12. 8	2. 3	水そう 600ℓ 薬液 20ℓ
	八潮 3 ポンプ車	日野 春日部 800 す 1428	A-2 級 2 段バランス	H17. 10. 6	8. 5	薬液 80ℓ
	八潮搬送 1 資機材搬送車	ニッサン 春日部 800 す 3202		H19. 8. 7	6. 7	
	八潮指揮 1 指揮車	ニッサンキャラバン 春日部 800 す 25		H16. 6. 29	9. 9	
	八潮化学 1 化学車	日野 春日部 830 す 2211	A-2 級 2 段バランス	H22. 11. 11	3. 4	水そう 1,300ℓ 薬液 300ℓ
	八潮はしご 1 はしご車	日野 春日部 88 や 638		H10. 2. 17	16. 1	38m 級
	八潮救助 1 救助工作車	日野 春日部 830 せ 840		H13. 3. 26	12. 0	ウィンチ 5t クレーン 2.4t 照明 4kW
	救急八潮 1 救急車	ニッサン 春日部 880 す 2782		H19. 2. 14	7. 1	高規格救急車
	救急八潮 2 救急車	トヨタ ハイメディック 春日部 831 ち 119		H20. 11. 13	5. 4	高規格救急車
	救急八潮 3 救急車	トヨタ ハイメディック 春日部 800 す 739		H17. 2. 28	9. 1	高規格救急車
	ボートトレーラー	エスコ 春日部 88 む 7		H6. 7. 6	19. 8	
	八潮警防 1 連絡車	ニッサン 春日部 830 ね 840		H18. 8. 8	7. 7	

消防通信系統図

平成26年4月1日

消防無線設備一覧



移動局 / 消防本部・署																	
水そう車	ポンプ車	ポンプ車	資機材搬送車	指揮者	化学車	はしご車	救助工作車	連絡車	救急車	救急車	救急車	査察車	査察車	査察車	携帯	携帯	携帯
八潮1	八潮2	八潮3	八潮搬送1	八潮指揮1	八所化学1	八潮梯子1	八潮救助1	八潮警防1	救急八潮1	救急八潮2	救急八潮3	八潮予防1	八潮予防2	八潮予防3	八潮101~108	八潮201~207	八潮301~303

消防無線設備一覧

平成26年4月1日現在

局	型式	出	周波数	電	呼出名称	配置
基地局	CM-5086MT	10W	B	AC	しょうぼうやしお	通信指令室 第1装置
	CM-5086MT	10W	B	AC	しょうぼうやしお	通信指令室 第2装置
	CM-5086CMT	5W	C	AC	しょうぼうやしお	通信指令室 第3装置
	CM-5086CMT	5W	C	AC	しょうぼうやしお	通信指令室 第4装置
	CM-5086MT	5W	A	AC	しょうぼうやしお	通信指令室 第5装置
	CM-5086MT	5W	A	AC	しょうぼうやしお	通信指令室 第6装置
	CM-5086MT	5W	A	AC	しょうぼうやしお	通信指令室 第7装置
	CM-5086MT	5W	A	AC	しょうぼうやしお	通信指令室 第8装置
移動局	VM-1106T	10W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 1	水そう車
	VM-3050	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 2	ポンプ車
	VM-1106T	10W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 3	ポンプ車
	VM-3050	10W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしおはんそう 1	資機材搬送車
	VM-1106T	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしおかがく 1	化学車
	VM-1055	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしおはしご 1	はしご車
	VM-3050	10W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしおきゅうじょ 1	救助工作車
	VM-1106T	10W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしおしき 1	指揮車
	VM-1106T	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしおけいぼう 1	連絡車
	VM-1106T	10W	A・B・C・全1・全2・全3	DC	きゅうきゅうやしお 1	救急車
	VM-1125LT	10W	A・B・C・全1・全2・全3	DC	きゅうきゅうやしお 2	救急車
	VM-1106T	5W	A・B・C・全1・全2・全3	DC	きゅうきゅうやしお 3	救急車
	VM-1126LT	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしおよぼう 1	査察車
	VM-1013C	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしおよぼう 2	査察車
	VM-3050	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしおよぼう 3	査察車
携帯局	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 101	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 102	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 103	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 104	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 105	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 106	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 107	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 108	
	CP-5068T	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 201	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 202	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 203	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 204	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 205	
	CP-5068T	1W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 206	
	CP-5068T	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 207	
	CP-5068T	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 301	
	CP-5068T	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 302	
	CP-5068T	5W	A・B・全1・全2・全3	DC	やしお 303	

注) 周波数表示記号

A…148.29MHz(県内共通波)

B…150.07MHz(市町村波)

C…146.78MHz(救急波)

全1…150.73MHz 全国共通波

全2…148.75MHz 全国共通波

全3…154.15MHz 全国共通波

機械器具保有状況

平成26年4月1日現在

分類	機械器具名	保有数	機械器具名	保有数
保安器具 測定器具	空気呼吸器	35	放射能測定器	6
	電流計	1	酸素呼吸器	5
	低音波厚さ計	1	自動接地抵抗計（電池式含む）	2
	騒音計	1	赤外線熱画像	2
	ガス測定器具	4		
救助器具	救命索発射銃	1	安全帯	多
	救命ボート（船外機付）	2	可搬ウィンチ	3
	救命ゴムボート	1	サバイバースリング	4
	スローダン	2	マンホール救助器具（ロールグリス）	1
	空気式救助マット	2	空気式ジャッキ	1
	救助用ベルト	7	救助用担架	9
	救助用縛帯	11	油圧パワー	2
救助破壊 器具	エアーカッター	1	ハンマードリル兼削岩機	3
	エアーソー	1	油圧式カッター	1
	チェーンソー	5	スプレッダー	1
	ストライカー	4	ペダルカッター	1
	エンジンカッター	4	プランジャーラム	2
救急救養 資機材	レコーディングレサシアン	5	蘇生訓練シミュレーター	1
	外傷模型セット	1	気道管理トレーナー	2
	レサシベビー	6	ALSトレーナー一式	1
	レサシジュニア	5	バックボード一式	7
	リトルアン	27		
体力向上 器具	握力計	3	ハードパワーラック	1
	肺活量計	1	ベンチプレス台	5
	カールベンチ台	1	ダンベル	多
車両整備 器具	エアーコンプレッサー	2	バッテリー充電器	1
	ガレージジャッキ	2		
その他	高圧ガス製造設備	1	インパルス発射銃	1
	組立て水槽	3	簡易画像探索機	1
	防火・救急DVD	多	化学防護服	12
	送排風機	1	放射線防護服	2
	エアーテント（エアコン付）	1	救急用タブレット端末	4

消防水利設置状況

平成26年4月1日現在

地区別	消火栓		防火水槽		貯水槽・プール	
	設置数	25年度中 増減	設置数	25年度中 増減	設置数	25年度中 増減
八条	111		16		3	
鶴ヶ曾根	107	2	34	△1	3	
小作田	1					
松之木	0		1			
伊草	43		5			
新町	39		15	2	4	
二丁目	97		33			
木曾根	113	△1	42		1	
南川崎	93	△1	21	1	2	
伊勢野	50	1	18	1		
大瀬	126	6	34	3	2	
古新田	66	1	14	1	3	
圀	42	2	6		1	
上馬場	10	1				
中馬場	11		2			
大原	25		2	△1		
大曾根	134		59	1		
浮塚	98		31	1		
西袋	61	△1	27		3	
柳之宮	21		5		1	
南後谷	55	△1	39	4	3	△1
中央一丁目	30		10		2	
中央二丁目	32		8			
中央三丁目	30		6			
中央四丁目	22		3		1	
八潮一丁目	23		6	1		
八潮二丁目	16		4		1	
八潮三丁目	26		4			
八潮四丁目	33		9		1	
八潮五丁目	11		6		1	
八潮六丁目	28		7			
八潮七丁目	32		3		1	
八潮八丁目	17		5			
緑町一丁目	30		11	1		
緑町二丁目	22		8			
緑町三丁目	19		6		1	
緑町四丁目	22		4		1	
緑町五丁目	25		4			
合計	1,721	9	508	14	35	△1

△はマイナス

防火対象物現況

平成25年12月31現在

令別表第一項目		消防法施行令別表第一用途別分類	件数
(1) 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	
	ロ	公会堂又は集会場	1 6
(2) 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	
	ロ	遊技場又はダンスホール	1 0
	ハ	性風俗施設（性感マッサージ、イメージクラブ等）	
	ニ	カラオケボックス、その他遊興に用いる個室を設けた施設	3
(3) 項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	
	ロ	飲食店	3 4
(4) 項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	9 9
(5) 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	4
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	5 9 4
(6) 項	イ	病院、診療所又は助産所	2 4
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、有料老人ホーム等	1 4
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等	1 5
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校	8
(7) 項		小学校、中学校、高等学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの	1 7
(8) 項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	1
(9) 項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、蒸気浴場その他これらに類するもの	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1
(10) 項		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場 （旅客の乗降又は待合の用に供する建築物に限る）	3
(11) 項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	1 9
(12) 項	イ	工場又は作業場	6 4 2
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
(13) 項	イ	自動車車庫又は駐車場	1 6
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
(14) 項		倉庫	7 4 6
(15) 項		前各項に該当しない事業所	1 3 0
(16) 項	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	2 4 8
	ロ	イに掲げる複合用途対象物以外の複合用途防火対象物	2 4 3
(17) 項		文化財保護法等の規定により、認定された文化財又は建造物	1
合 計			2,888

特定防火対象物を表す。

延べ面積 300 m²未満を除く。

防火管理者選任防火対象物数

平成25年12月31日現在

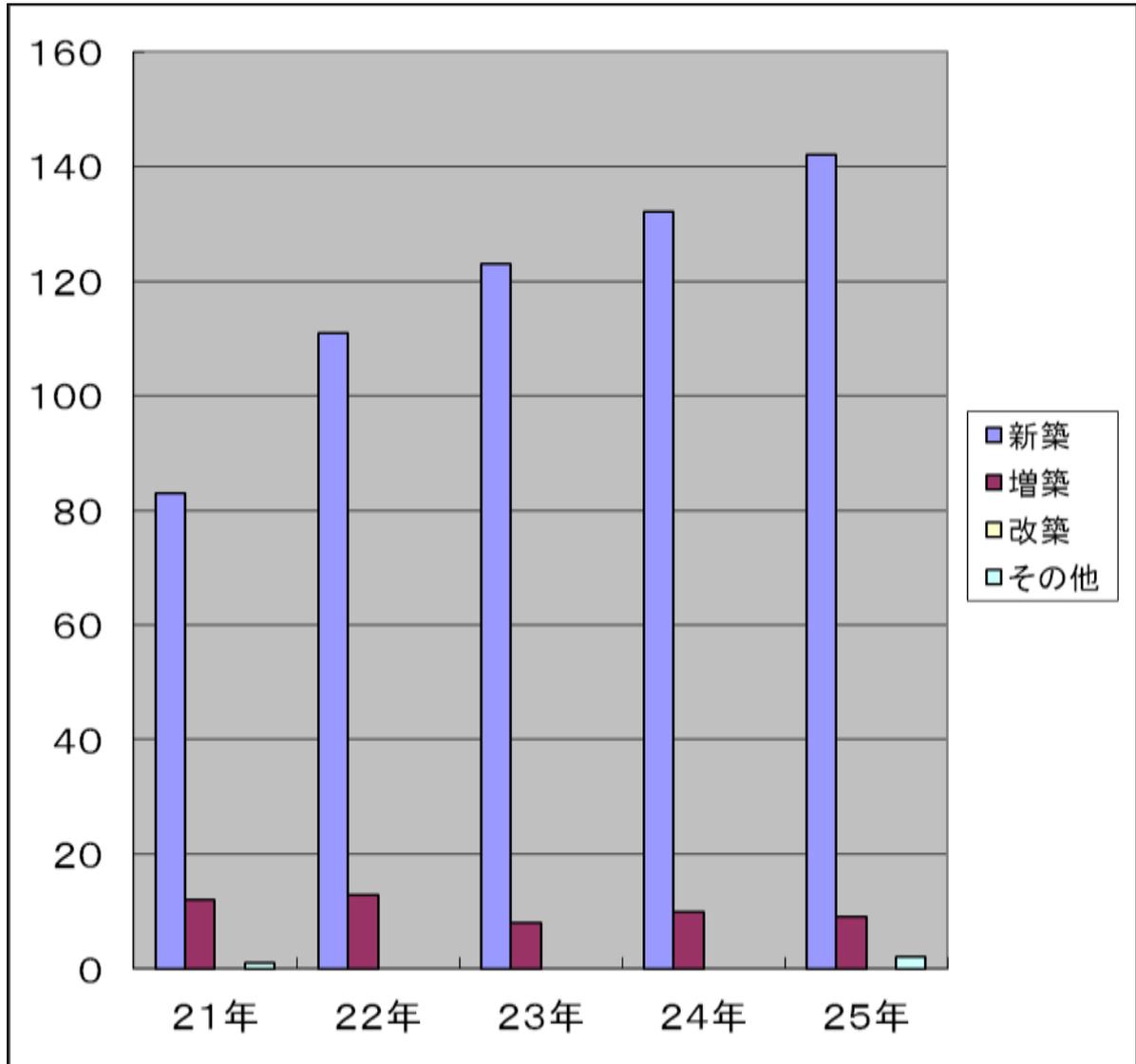
令別表第一項目		消防法施行令別表第一用途別分類	選任状況
(1) 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	
	ロ	公会堂又は集会場	9
(2) 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	
	ロ	遊技場又はダンスホール	8
	ハ	性風俗施設（性感マッサージ、イメージクラブ等）	
	ニ	カラオケボックス、その他遊興に用いる個室を設けた施設	3
(3) 項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	
	ロ	飲食店	29
(4) 項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	39
(5) 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	4
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	62
(6) 項	イ	病院、診療所又は助産所	8
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、有料老人ホーム等	6
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等	25
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校	2
(7) 項		小学校、中学校、高等学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの	17
(8) 項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	1
(9) 項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、蒸気浴場その他これらに類するもの	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1
(10) 項		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客の乗降又は待合の用に供する建築物に限る）	1
(11) 項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	2
(12) 項	イ	工場又は作業場	63
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
(13) 項	イ	自動車車庫又は駐車場	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
(14) 項		倉庫	9
(15) 項		前各項に該当しない事業所	17
(16) 項	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	120
	ロ	イに掲げる複合用途対象物以外の複合用途防火対象物	5
合 計			431

消防同意処理状況

平成 25 年中

令別表第一項目		消防法施行令別表第一用途別分類	件数
(1) 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	
	ロ	公会堂又は集会場	
(2) 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	
	ロ	遊技場又はダンスホール	
	ハ	性風俗施設（性感マッサージ、イメージクラブ等）	
	ニ	カラオケボックス、その他遊興に用いる個室を設けた施設	
(3) 項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	
	ロ	飲食店	3
(4) 項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	8
(5) 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	40
(6) 項	イ	病院、診療所又は助産所	1
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、有料老人ホーム等	4
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等	
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校	
(7) 項		小学校、中学校、高等学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの	1
(8) 項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	
(9) 項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、蒸気浴場その他これらに類するもの	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	
(10) 項		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場 （旅客の乗降又は待合の用に供する建築物に限る）	
(11) 項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	
(12) 項	イ	工場又は作業場	13
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
(13) 項	イ	自動車車庫又は駐車場	2
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
(14) 項		倉庫	17
(15) 項		前各項に該当しない事業所	21
(16) 項	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	10
	ロ	イに掲げる複合用途対象物以外の複合用途防火対象物	2
(17) 項		文化財保護法等の規定により、認定された文化財又は建造物	
専用住宅			31
その他			
合 計			153

過去5年間の消防同意処理状況



	21年	22年	23年	24年	25年
新築	83	111	123	132	142
増築	12	13	8	10	9
改築					
その他	1				2
合計	96	124	131	142	153

消防用設備等設置届件数内訳

各暦年

消防用設備等種類	平成25年	平成24年	比較(△減)
消火器	96	75	21
屋内消火栓設備	13	7	6
スプリンクラー設備	4	3	1
ハロゲン化物消火設備	2		2
泡消火設備	1		1
不活性ガス消火設備			
二酸化炭素消火設備			
パッケージ型消火設備	2		2
粉末消火設備(移動・固定式含)	5	1	4
屋外消火栓設備	3		3
動力消防ポンプ			
自動火災報知設備	88	55	33
火災通報装置設備	6		6
漏電火災報知設備	1	1	0
非常警報設備	18	19	△1
避難設備(ハッチ式含)	28	32	△4
誘導灯(標識含)	62	41	21
排煙設備			
連結散水設備			
連結送水設備	7	3	4
非常用コンセント設備	1		1
消防水利	1		1
総合操作盤	1		1
合 計	339	237	102

地上5階以上の防火対象物

平成25年12月31日現在

令別表第一項目		消防法施行令別表第一用途別分類	件数
(1) 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	
	ロ	公会堂又は集会場	
(2) 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの	
	ロ	遊技場又はダンスホール	1
	ハ	性風俗施設（性感マッサージ、イメージクラブ等）	
	ニ	カラオケボックス、その他遊興に用いる個室を設けた施設 （消防法施行令改正により、平成20年10月1日新設）	
(3) 項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	
	ロ	飲食店	
(4) 項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	
(5) 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	3
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	128
(6) 項	イ	病院、診療所又は助産所	2
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、有料老人ホーム等	
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等	
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校	
(7) 項		小学校、中学校、高等学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの	2
(8) 項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	
(9) 項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、蒸気浴場その他これらに類するもの	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	
(10) 項		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場 （旅客の乗降又は待合の用に供する建築物に限る）	
(11) 項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	
(12) 項	イ	工場又は作業場	4
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
(13) 項	イ	自動車車庫又は駐車場	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
(14) 項		倉庫	3
(15) 項		前各項に該当しない事業所	1
(16) 項	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの	9
	ロ	イに掲げる複合用途対象物以外の複合用途防火対象物	5
(17) 項		文化財保護法等の規定により、認定された文化財又は建造物	
合 計			159

火 災 の 概 要

各暦年

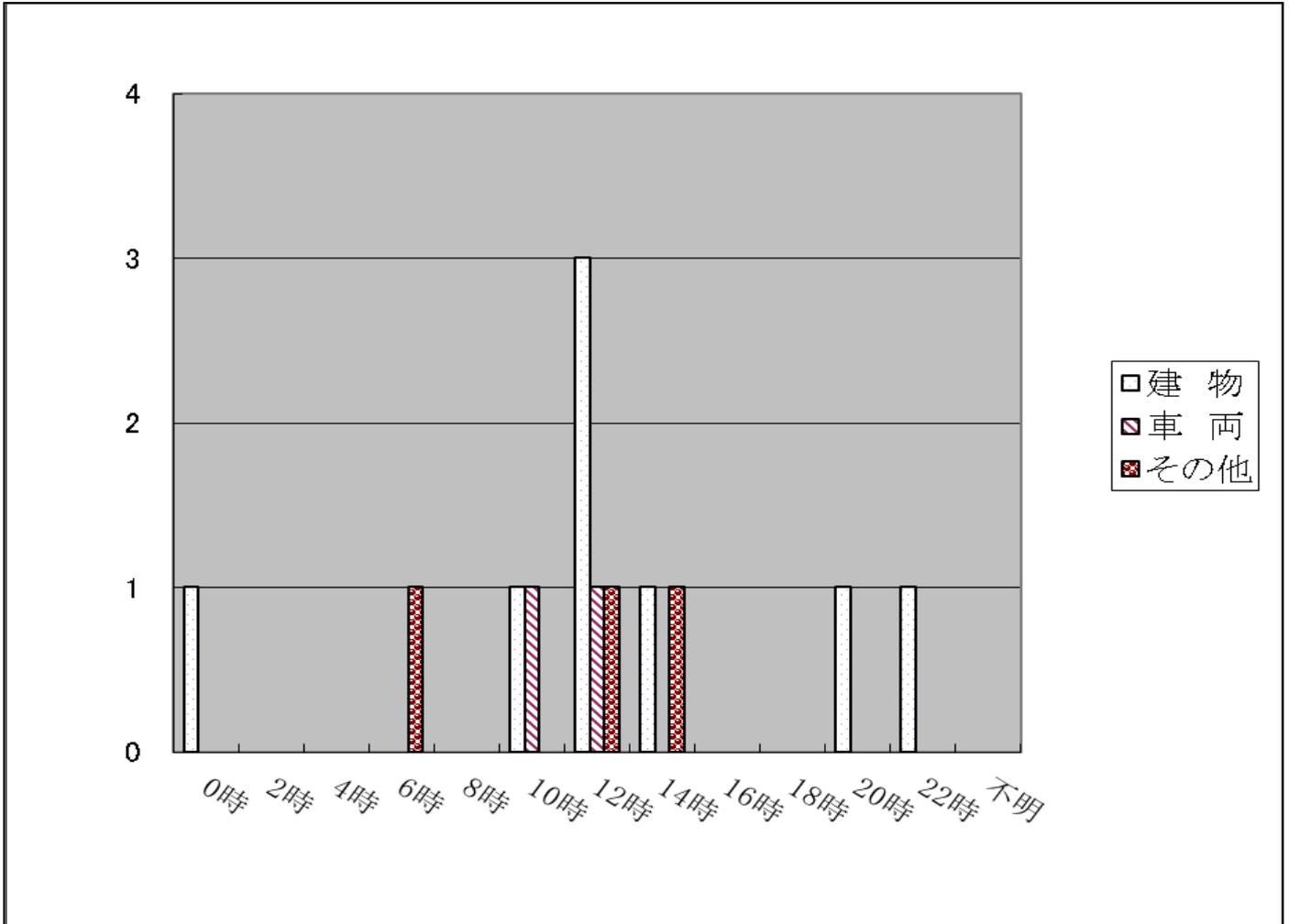
区 分 (単位)		平成25年	平成24年	比 較 (△減)
出火件数	(件)	13	24	△11
建 物	(件)	8	17	△9
車 両	(件)	2	4	△2
その他	(件)	3	3	0
焼損棟数	(棟)	13	19	△6
全 焼	(棟)	2	2	0
半 焼	(棟)	0	3	△3
部分焼	(棟)	6	7	△1
ぼ や	(棟)	5	7	△2
建物焼損面積	(㎡)	224	728	△504
建物焼損表面積	(㎡)	8	51	△43
死 者	(人)	1	1	0
負傷者	(人)	0	5	△5
り災世帯数	(世帯)	8	15	△7
全 損	(世帯)	1	4	△3
半 損	(世帯)	1	0	1
小 損	(世帯)	6	11	△5
り災人員	(人)	18	36	△18
損害額	(千円)	45,999	60,481	△14,482
建 物	(千円)	44,499	60,081	△15,582
車 両	(千円)	1,500	400	1,100
その他	(千円)	0	0	0

年別火災件数と損害額の推移

年	件数	損害額 (千円)	年	件数	損害額 (千円)
45	19	32,125	8	38	65,664
46	23	145,576	9	31	281,906
47	28	95,120	10	23	228,494
48	35	130,355	11	45	384,760
49	32	189,743	12	33	344,038
50	25	137,577	13	33	234,738
51	64	290,132	14	41	139,596
52	56	128,272	15	33	162,471
53	48	358,038	16	49	111,798
54	33	50,538	17	38	101,573
55	54	489,041	18	27	143,194
56	61	683,062	19	27	124,895
57	42	874,045	20	29	55,263
58	37	183,851	21	24	12,776
59	43	160,261	22	42	42,127
60	31	339,526	23	43	24,588
61	32	145,872	24	24	60,481
62	45	691,796	25	13	45,999
63	34	62,560			
元	39	364,900			
2	34	193,911			
3	30	164,757			
4	28	78,587			
5	37	127,621			
6	40	269,320			
7	31	525,122			



時間別火災発生状況



(平成25年中)

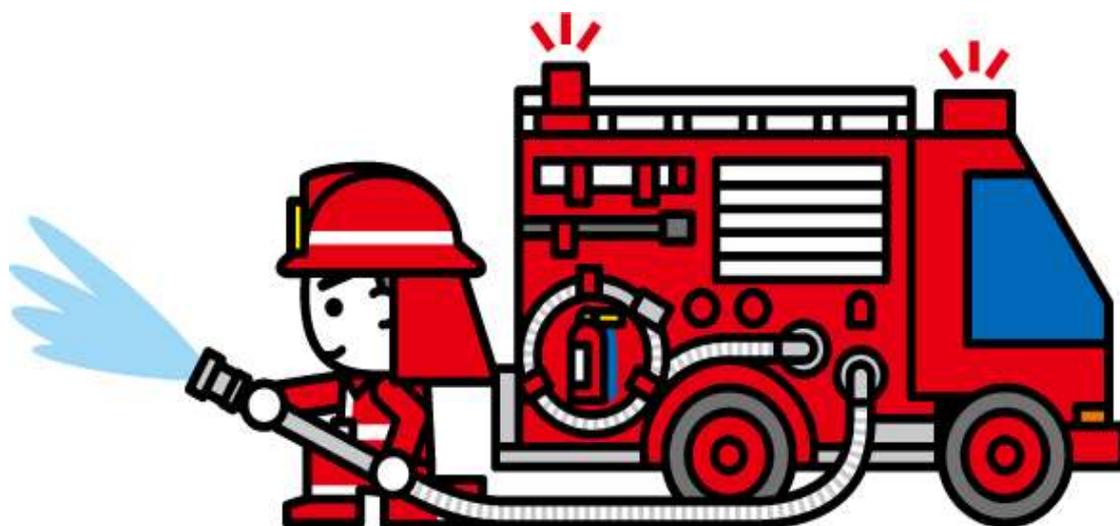
	0時	2時	4時	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時	不明	合計
建物	1					1	3	1			1	1		8
車両						1	1							2
その他				1			1	1						3
合計	1			1		2	5	2			1	1		13

※不明にあつては事後聞知火災

火災原因別の出火件数及び損害額

平成25年中

原因別	件数	損害額(千円)
たばこ		
こんろ		
放火	1	0
放火の疑い	1	0
火遊び		
その他	4	1,032
不明	7	44,967
計	13	45,999



過去3年間の主な火災

平成23年～平成25年(各暦年)

年 月 日	発生時刻	発生場所	焼損床面積(m ²)	損害額(千円)
平成23年 9月 3日	11時	緑町	133	11,948
平成24年 2月 19日	15時	鶴ヶ曾根	145	8,794
平成24年 5月 2日	10時	木曾根	431	5,378
平成24年 7月 30日	5時	南川崎	59	35,415
平成25年 1月 17日	22時	大瀬	43	13,905
平成25年 2月 27日	12時	大曾根	175	8,456



救急活動の推移

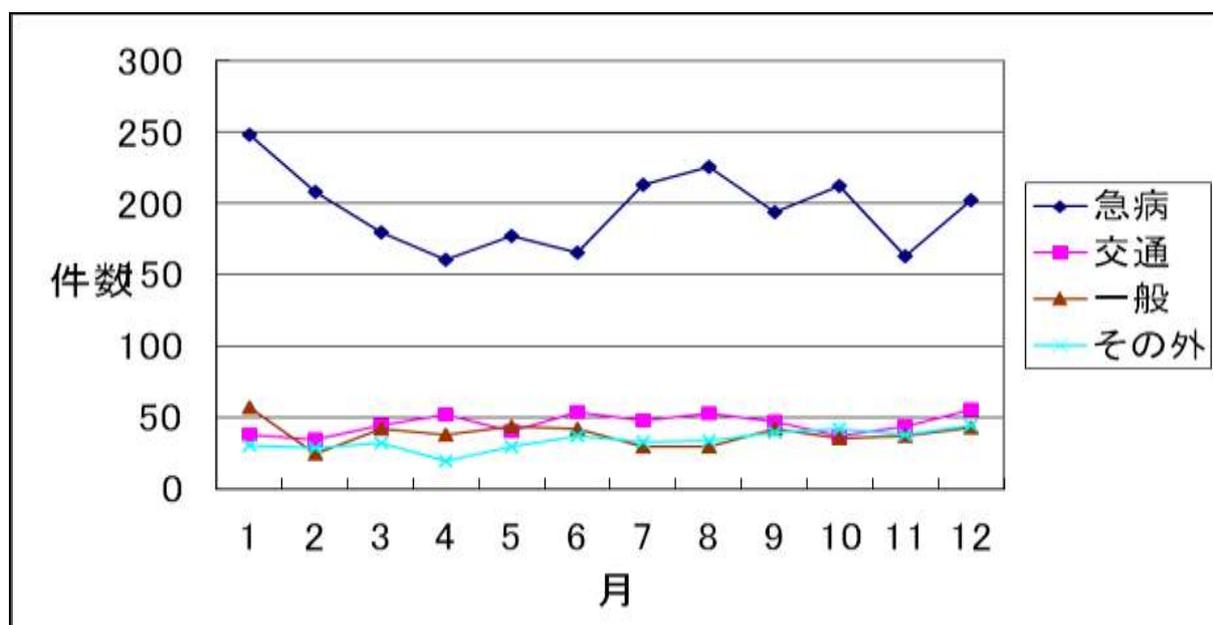
過去10年

事故種別		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	不搬送
			暦年別											
H16	出場件数	3,131	54			619	93	23	298	61	44	1,647	292	232
	搬送人員	2,999	5			669	93	23	294	62	34	1,579	240	
H17	出場件数	3,323	35	1	6	646	84	20	336	61	35	1,792	307	248
	搬送人員	3,150	4	1	2	679	84	20	326	46	28	1,718	242	
H18	出場件数	3,266	37		4	599	95	15	349	48	40	1,813	266	273
	搬送人員	3,054	7			601	95	15	329	39	30	1,745	193	
H19	出場件数	3,219	31		2	556	95	21	346	50	45	1,829	244	325
	搬送人員	2,954	5			578	92	21	323	40	36	1,693	166	
H20	出場件数	3,052	24		3	473	74	12	353	44	62	1,765	242	333
	搬送人員	2,752	12		1	455	74	12	325	42	45	1,608	178	
H21	出場件数	3,098	22		6	510	62	27	366	41	60	1,789	215	386
	搬送人員	2,760	9		1	501	60	27	332	31	41	1,616	142	
H22	出場件数	3,424	30		3	523	77	21	395	47	48	2,060	220	461
	搬送人員	3,007	12			484	75	21	351	39	29	1,856	140	
H23	出場件数	3,573	28		3	508	99	14	432	46	69	2,161	213	528
	搬送人員	3,090	8			484	99	14	373	29	42	1,894	147	
H24	出場件数	3,649	33		10	498	80	16	431	74	52	2,298	157	542
	搬送人員	3,154	6		1	492	79	15	357	51	34	1,997	122	
H25	出場件数	3,777	17	1	6	550	91	17	466	52	41	2,350	186	584
	搬送人員	3,224	1	0	1	493	90	17	401	35	28	2,023	135	

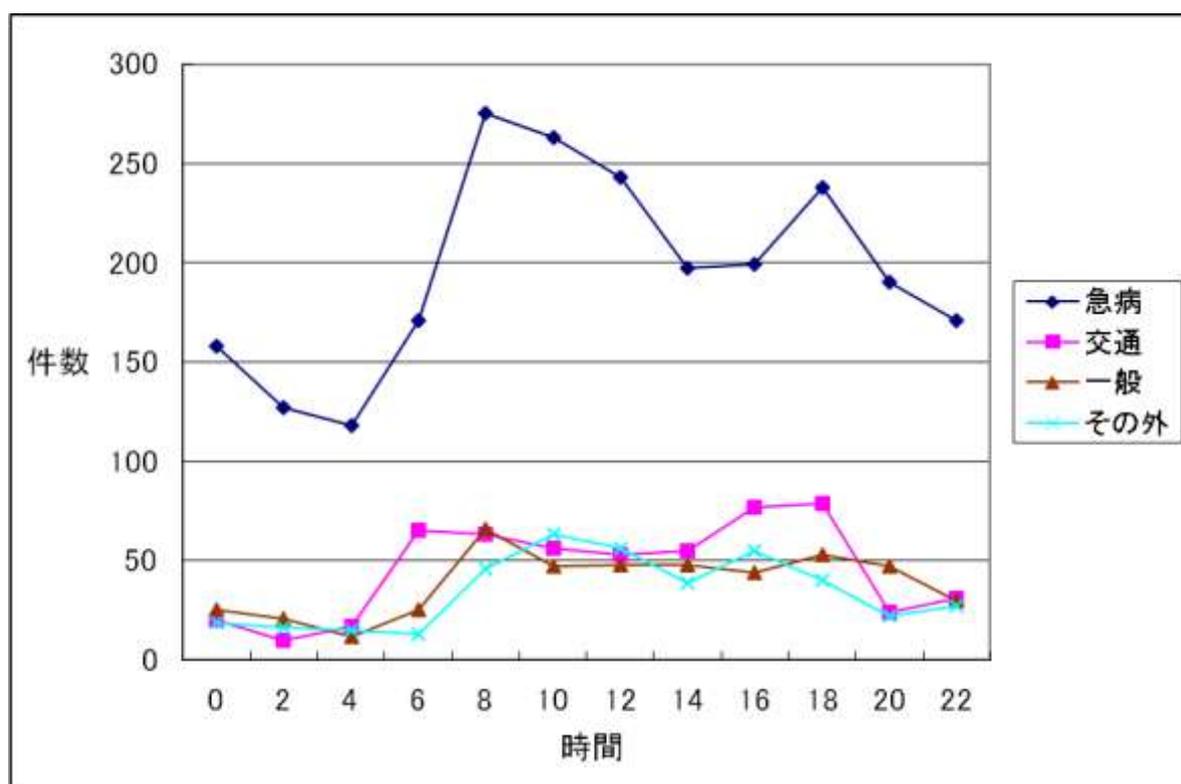
月別救急活動状況

平成25年中

事故種別		月別											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
合計	3,777	374	297	299	271	292	299	324	343	323	327	282	346
火災	17	2	2	1	3	1	3	2			1	2	
自然	1									1			
水難	6			1			2		1	1			1
交通	550	38	35	45	52	41	54	48	53	47	37	44	56
労災	91	8	5	6	5	4	8	12	5	9	11	9	9
運動	17	3	1	1	2	3	2	1		2		2	
一般	466	57	25	42	38	44	42	30	30	42	36	37	43
加害	52	3	5	3		5	3	3	5	6	4	6	9
自損	41	1	4	6	4	2	5	2	2	7	3	1	4
急病	2,350	248	208	180	161	177	166	213	226	194	212	163	202
その他	186	14	12	14	6	15	14	13	21	14	23	18	22



時間別発生状況



覚知時間別状況

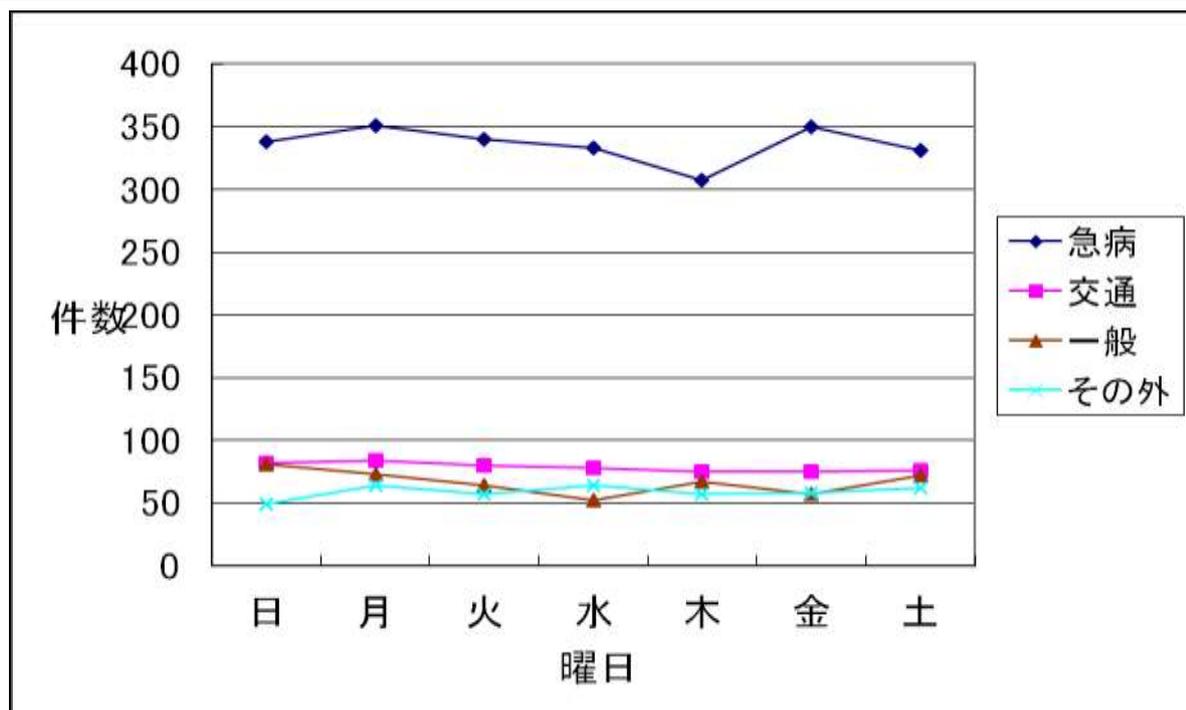
平成25年中

事故種別	時間別	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
合計	3,777	222	174	162	274	450	429	400	339	375	410	283	259
火災	17	2			2	1	3	2		2	3	1	1
自然災害	1								1				
水難	6	1	1					1		2	1		
交通	550	20	10	17	65	63	56	53	55	77	79	24	31
労働災害	91	1			4	19	19	11	17	11	5	2	2
運動競技	17						5	5	1	4	1		1
一般負傷	466	25	21	12	25	66	47	48	48	44	53	47	30
加害	52	7	10	6			1	2		2	10	5	9
自損行為	41	2	3	3	4	3	2	3	2	1	6	5	7
急病	2,350	158	127	118	171	275	263	243	197	199	238	190	171
その他	186	6	2	6	3	23	33	32	18	33	14	9	7

曜日別救急活動状況

平成25年中

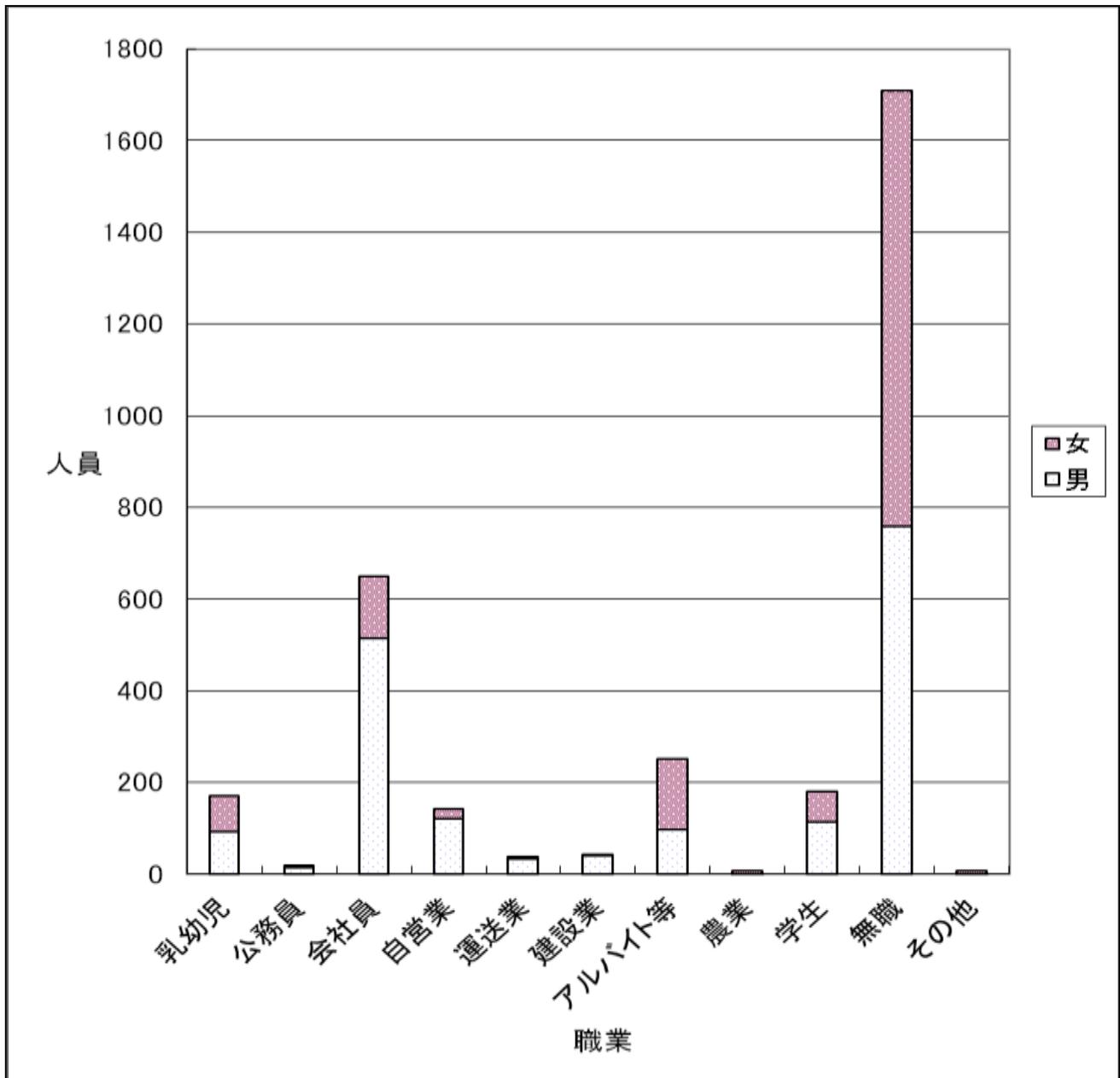
事故種別		曜日別						
		日	月	火	水	木	金	土
合計	3777	550	572	541	527	506	540	541
火災	17	4	5		1	3	3	1
自然	1		1					
水難	6	3	2	1				
交通	550	82	84	80	78	75	75	76
労災	91	4	10	21	18	19	10	9
運動	17	5			1	5	1	5
一般	466	81	73	64	52	67	57	72
加害	52	15	5	5	6	5	11	5
自損	41	4	7	10	5	5	4	6
急病	2350	338	351	340	333	307	350	331
その他	186	14	34	20	33	20	29	36



職業別搬送人員状況

平成25年中

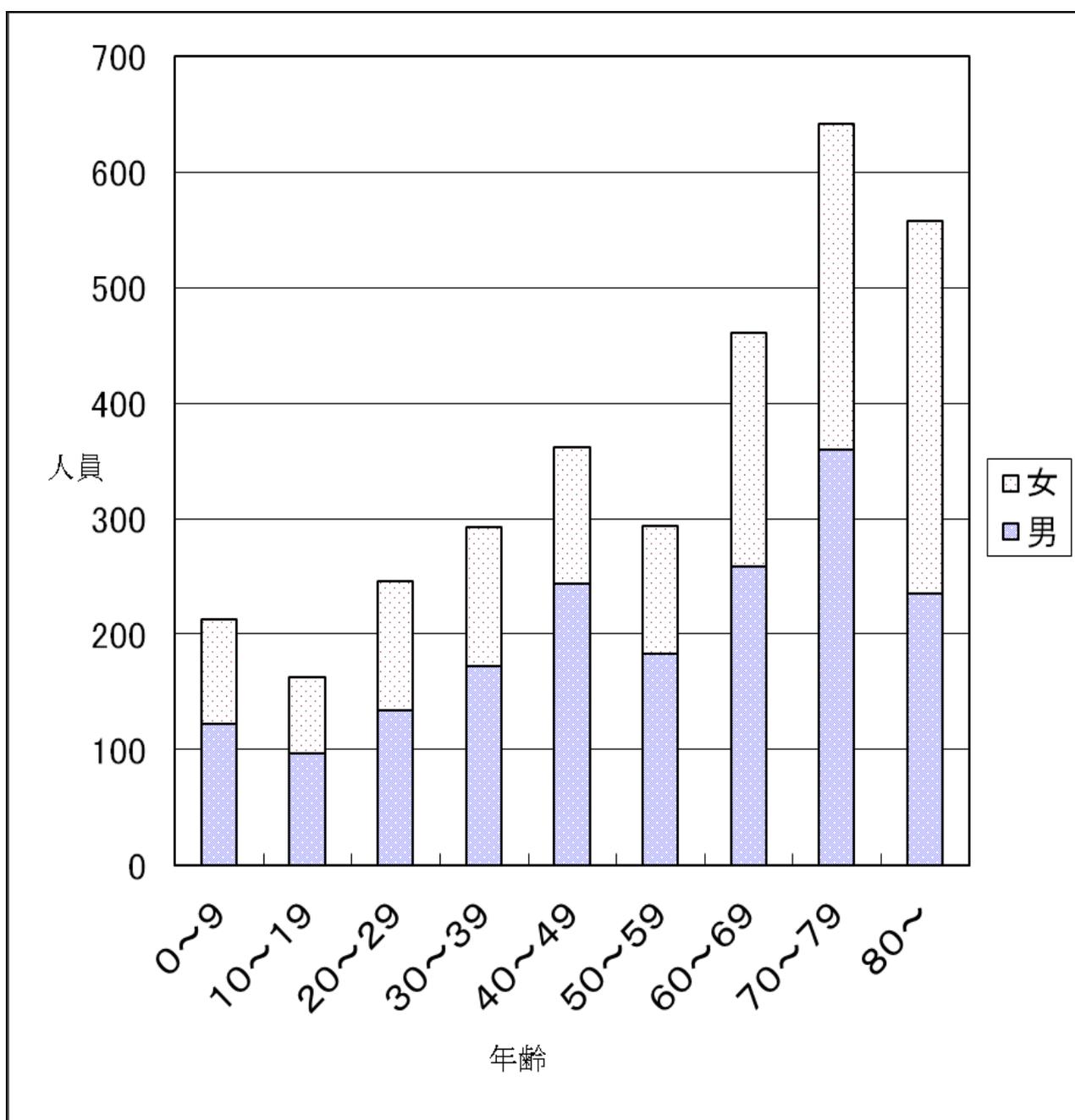
職業別		乳幼児	公務員	会社員	自営業	運送業	建設業	アルバイト等	農業	学生	無職	その他	
男女別	男	1802	94	14	515	122	35	40	98	4	114	760	6
	女	1422	78	6	136	21	3	1	155	4	68	949	1
合計			3224	172	20	651	143	38	41	253	8	182	1709



年齢別搬送状況

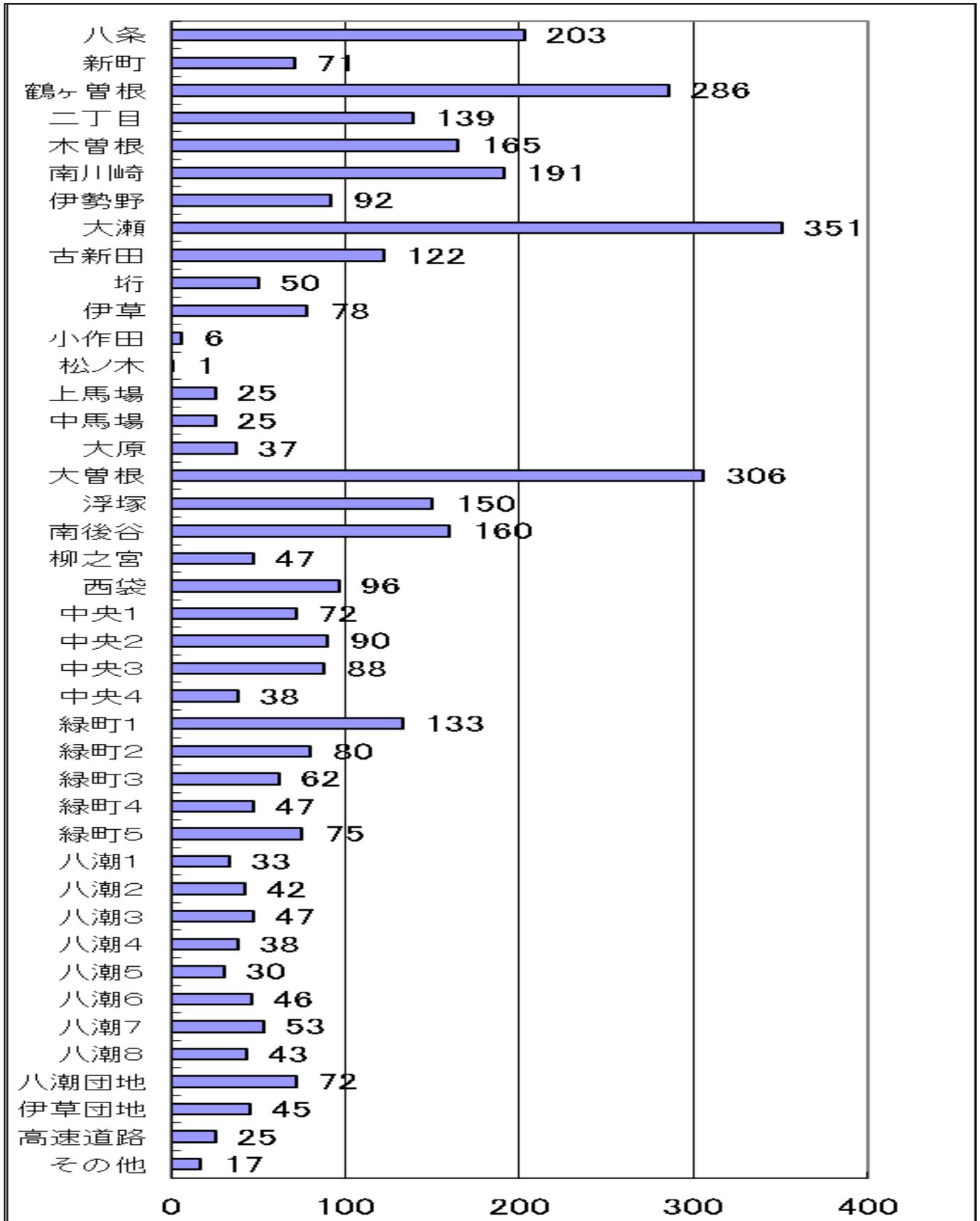
平成25年中

年 齢		0 ～ 9	10 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	80 ～
男	1802	122	96	134	172	243	183	258	359	235
女	1422	90	66	111	120	118	110	203	282	322
合計	3224	212	162	245	292	361	293	461	641	557



町名別出動状況

平成25年中

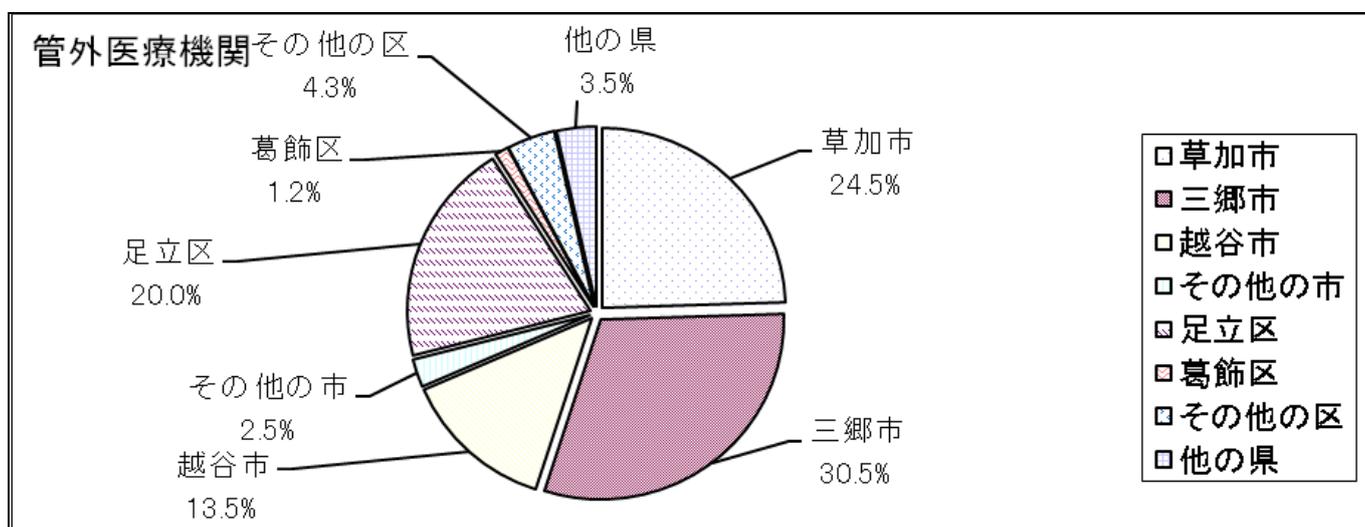
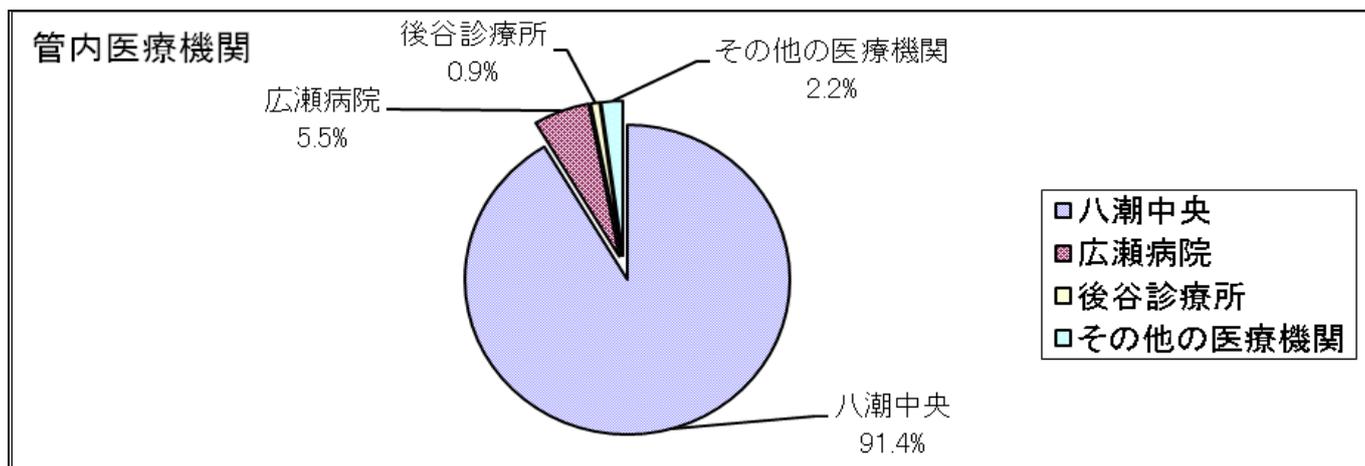


管内・管外別搬送人員状況

平成25年中

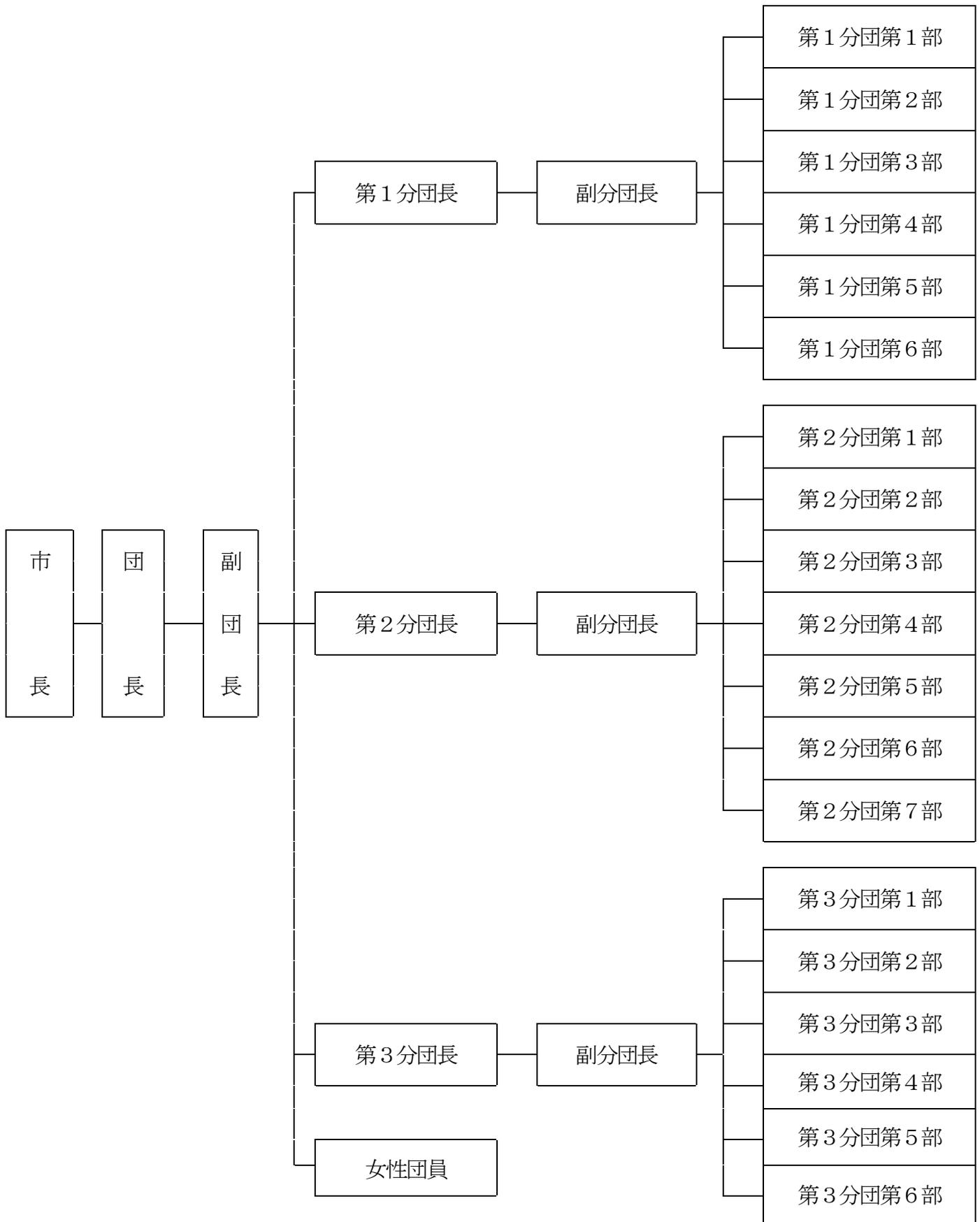
合計 3,224

管内	市内	八潮中央総合病院	1358	小計	1,485
		広瀬病院	82		
		後谷診療所	13		
		その他医療機関	32		
	市外	草加市	426	小計	1,235
		三郷市	530		
		越谷市	235		
その他の市		44			
県外	都内	足立区	348	小計	504
		葛飾区	21		
		その他	74		
	他の県		61		



消防団の組織

平成26年4月1日現在



部別位置及び受け持ち区域

平成 26 年 4 月 1 日現在

名称	位置	区域
第 1 分団第 1 部	大字八條 411 番地 1	八條の一部
第 1 分団第 2 部	大字八條 3621 番地 3	八條の一部
第 1 分団第 3 部	大字八條 2638 番地 5	八條の一部、鶴ヶ曾根の一部
第 1 分団第 4 部	大字鶴ヶ曾根 1907 番地 4	八條の一部、鶴ヶ曾根の一部
第 1 分団第 5 部	緑町二丁目 1 番地 1 1	小作田、松之木、中央一丁目の一部
		緑町一丁目、緑町二丁目、緑町三丁目の一部
		緑町四丁目の一部、緑町五丁目の一部
第 1 分団第 6 部	大字伊草 288 番地 2	伊草、新町、緑町三丁目の一部、緑町五丁目の一部
第 2 分団第 1 部	大字二丁目 207 番地	二丁目の一部、木曾根の一部、中馬場の一部
第 2 分団第 2 部	大字二丁目 1238 番地 1	二丁目の一部、木曾根の一部、南川崎の一部
第 2 分団第 3 部	大字南川崎 823 番地 3	南川崎の一部、伊勢野の一部、大瀬の一部
第 2 分団第 4 部	大字大瀬 49 番地 1	大瀬の一部、伊勢野の一部
第 2 分団第 5 部	大字古新田 1061 番地	古新田の一部、圀の一部
第 2 分団第 6 部	八潮一丁目 22 番地 8	木曾根の一部、二丁目の一部、八潮一丁目
		八潮二丁目、八潮四丁目の一部、八潮五丁目の一部
		大瀬の一部、中央二丁目の一部
第 2 分団第 7 部	大字圀 125 番地 1 (仮換地)	圀の一部、古新田の一部
第 3 分団第 1 部	八潮七丁目 9 番地 15	中央一丁目の一部、中央二丁目の一部、中央三丁目
		中央四丁目、八潮三丁目の一部、八潮七丁目の一部
		八潮八丁目の一部、上馬場、中馬場の一部、
		緑町四丁目の一部
第 3 分団第 2 部	八潮六丁目 1 番地 10	八潮三丁目の一部、八潮四丁目の一部、八潮五丁目の一部
		八潮六丁目、八潮七丁目の一部、八潮八丁目の一部
第 3 分団第 3 部	大字大曾根 494 番地	大曾根の一部、大原
第 3 分団第 4 部	大字浮塚 450 番地 1	浮塚、大曾根の一部
第 3 分団第 5 部	大字西袋 58 番地 1	西袋、八潮八丁目の一部
第 3 分団第 6 部	大字南後谷 763 番地	南後谷、柳之宮
		緑町四丁目の一部、緑町五丁目の一部

階級別勤続年数

平成26年4月1日現在

階級 年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1年未満							25 (7)	25
1年以上～5年未満							43 (4)	43
5年以上～10年未満						8	52	60
10年以上～15年未満				1	4	30	21	56
15年以上～20年未満			1		10	16	5	32
20年以上～25年未満			1	2	4	3		10
25年以上～30年未満			1		1			2
30年以上	1	2						3
合計	1	2	3	3	19	57	146 (11)	231

()は、女性団員内数

階級別年齢状況

平成26年4月1日現在

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
20歳未満								
20歳～25歳							2	2
26歳～30歳							16 (1)	16
31歳～35歳						4	32	36
36歳～40歳					3	12	58 (5)	73
41歳～45歳					6	26	21 (3)	53
46歳～50歳			1		6	11	12	30
51歳～55歳			2	3	3	3	2	13
56歳～60歳					1	1	2 (1)	4
61歳以上	1	2					1 (1)	4
合計	1	2	3	3	19	57	146 (11)	231

()は、女性団員内数

分団別階級状況

平成26年4月1日現在

区分 \ 階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員 (女性含む)	計
本 部	1	2					(11)	14
第1分団(1部~6部)			1	1	6	18	39	65
第2分団(1部~7部)			1	1	7	21	52	82
第3分団(1部~6部)			1	1	6	18	44	70
合 計	1	2	3	3	19	57	146(11)	231

()内は女性

部別消防自動車配置状況

平成26年4月1日現在

部 名	車 名	ポンプ級別	購入 年月日	使用 年数	備 考
第1分団第1部	トヨタ	B-3級 1段タービン	H16.7.6	9.8	全自動小型動力ポンプ付積載車
第1分団第2部	イズズ	A-2級 バランスタービン	H12.8.29	13.7	普通ポンプ車
第1分団第3部	トヨタ	B-3級 1段タービン	H17.8.18	8.7	全自動小型動力ポンプ付積載車
第1分団第4部	トヨタ	B-2級 1段タービン	H18.8.23	7.7	全自動小型動力ポンプ付積載車
第1分団第5部	トヨタ	B-2級 1段タービン	H19.8.23	6.7	全自動小型動力ポンプ付積載車
第1分団第6部	トヨタ	B-2級 1段タービン	H19.8.23	6.7	全自動小型動力ポンプ付積載車
第2分団第1部	トヨタ	B-3級 1段タービン	H17.8.18	8.7	全自動小型動力ポンプ付積載車
第2分団第2部	トヨタ	B-2級 1段タービン	H20.8.1	5.8	全自動小型動力ポンプ付積載車
第2分団第3部	トヨタ	B-2級 1段タービン	H18.8.23	7.7	全自動小型動力ポンプ付積載車
第2分団第4部	イズズ	A-2級 バランスタービン	H13.9.20	12.6	普通ポンプ車
第2分団第5部	トヨタ	B-3級 1段タービン	H15.7.18	10.8	全自動小型動力ポンプ付積載車
第2分団第6部	ヒノ	A-2級 バランスタービン	H25.3.28	1.0	普通ポンプ車
第2分団第7部	トヨタ	B-3級 1段タービン	H22.9.17	3.6	全自動小型動力ポンプ付積載車
第3分団第1部	ニッサン	B-2級 1段タービン	H21.8.3	4.7	全自動小型動力ポンプ付積載車
第3分団第2部	トヨタ	B-2級 1段タービン	H20.8.1	5.8	全自動小型動力ポンプ付積載車
第3分団第3部	ヒノ	A-2級 バランスタービン	H26.1.22	0.2	普通ポンプ車
第3分団第4部	ニッサン	B-2級 1段タービン	H21.8.3	4.7	全自動小型動力ポンプ付積載車
第3分団第5部	トヨタ	B-3級 1段タービン	H16.7.6	9.8	全自動小型動力ポンプ付積載車
第3分団第6部	トヨタ	B-3級 1段タービン	H14.6.26	11.9	全自動小型動力ポンプ付積載車

部別消防施設一覧

平成 26 年 4 月 1 日現在

部 名	構 造	建築延面積	新改築年月日
第 1 分団第 1 部	軽量鉄骨トタン葺平屋	32.83㎡	H16.12.27
第 1 分団第 2 部	鉄骨トタン葺 2 階	51.73㎡	S62.3.31
第 1 分団第 3 部	鉄骨トタン葺 2 階	37.40㎡	H4.3.23
第 1 分団第 4 部	軽量鉄骨トタン葺平屋	33.77㎡	S54.2.12
第 1 分団第 5 部	鉄骨鋼折板葺 2 階	37.40㎡	H6.3.24
第 1 分団第 6 部	軽量鉄骨トタン葺平屋	33.47㎡	S55.1.21
第 2 分団第 1 部	鉄骨鋼折板葺 2 階	51.72㎡	H5.3.25
第 2 分団第 2 部	軽量鉄骨トタン葺平屋	19.44㎡	S57.7.30
第 2 分団第 3 部	鉄骨トタン葺 2 階	51.04㎡	H8.9.17
第 2 分団第 4 部	鉄骨トタン葺 2 階	51.72㎡	S62.10.5
第 2 分団第 5 部	軽量鉄骨トタン葺平屋	17.06㎡	S50.12.12
	詰所木造平屋	23.71㎡	H1.12.21
第 2 分団第 6 部	鉄骨トタン葺 2 階	51.48㎡	S57.3.26
第 2 分団第 7 部	軽量鉄骨造平屋	24.70㎡	H19.3.26
第 3 分団第 1 部	軽量鉄骨トタン葺平屋	34.10㎡	S56.11.5
第 3 分団第 2 部	軽量鉄骨トタン葺平屋	33.47㎡	S55.1.22
第 3 分団第 3 部	鉄骨トタン葺 2 階	51.73㎡	S60.11.25
第 3 分団第 4 部	軽量鉄骨トタン葺平屋	37.43㎡	S56.3.28
第 3 分団第 5 部	軽量鉄骨トタン葺平屋	18.63㎡	S52.3.29
	詰所木造平屋	29.81㎡	H3.3.25
第 3 分団第 6 部	鉄骨トタン葺 2 階	36.04㎡	S63.12.20

消防団員報酬・出動手当

平成 26 年 4 月 1 日現在

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年支給額	156,000 円	120,000 円	94,800 円	84,000 円	75,600 円	57,600 円	51,600 円

消防団員 出動等手当(1人当りの手当)

出動手当 1回	2,200 円 (放水有)
	1,000 円 (放水無)
訓練手当 1回	1,000 円
警戒手当 1回	1,000 円

消防団員退職報償金

平成 26 年 4 月 1 日現在

勤続年数 階 級	5 年以上	10 年以上	15 年以上	20 年以上	25 年以上	30 年以上
	10 年未満	15 年未満	20 年未満	25 年未満	30 年未満	
団長	円 239,000	円 344,000	円 459,000	円 594,000	円 779,000	円 979,000
副団長	229,000	329,000	429,000	534,000	709,000	909,000
分団長	219,000	318,000	413,000	513,000	659,000	849,000
副分団長	214,000	303,000	388,000	478,000	624,000	809,000
部長及び班長	204,000	283,000	358,000	438,000	564,000	734,000
団員	200,000	264,000	334,000	409,000	519,000	689,000

天候状況

(月別日数)

平成25年中

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
快晴	3	1	0	2	0	0	0	0	1	2	8	11	28
晴れ	24	20	20	16	25	17	21	25	18	14	14	12	226
曇り	3	4	10	10	2	9	8	5	10	9	5	5	80
雨	0	2	1	2	4	4	2	1	1	6	3	2	28
雪	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
合計	31	28	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31	365

気温状況

平成25年中

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
最高気温℃	14.4	18.4	25.3	23.5	29.4	30.9	36.5	39	35.6	30.7	21.5	16.4	39
最低気温℃	-2.5	-2.2	2	4.4	8.9	13.6	19.6	19.9	14.2	9.1	3.5	0	-2.5
平均気温℃	4.4	5.0	11.2	14.2	19.0	22.2	26.7	28.7	24.4	19.0	12.3	7.1	16.2

湿度状況

平成25年中

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
最高湿度%	92.4	92.5	90.0	91.9	91.1	90.8	86.9	86.1	88.3	90.5	85.5	87.5	92.5
最低湿度%	14.9	11.6	11.6	11.6	12.5	23.0	25.5	25.8	23.0	18.8	14.1	13.3	10.5
平均湿度%	45.3	45.3	50.9	50.9	56.0	68.7	65.2	61.3	63.0	66.5	51.3	48.0	55.9
平均実効湿度%	46.5	48.0	53.0	53.0	54.2	68.1	64.8	62.1	62.8	66.0	52.8	47.7	55.7

《観測場所…八潮市消防署》

月別風向・風速状況

平成 25 年中

区 分	月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
平均風向		NNW	NNW	NNW	NNW	S	SSE	SSE	SSE	N	NNW	NNS	NNW
平均風速m/s		2.2	2.5	2.9	3.2	2.9	2.7	2.8	2.6	2.7	2.7	1.8	1.9

気象注意報等発令状況

平成 25 年中

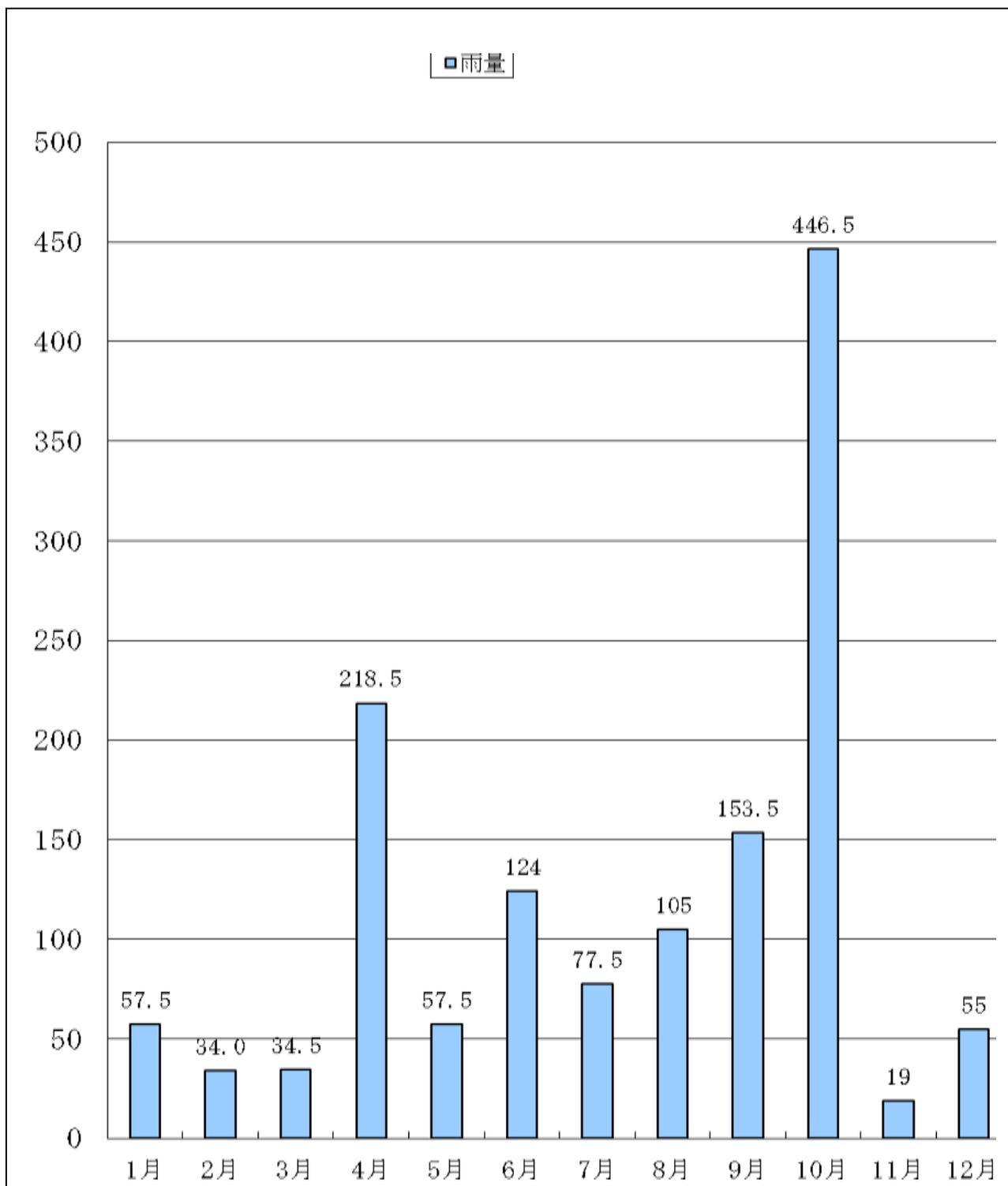
区 分	月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
警 報	暴 風										1			1
	暴風雪													
	大 雨							1		1	1			3
	洪 水							1		1	1			3
	大 雪													
	光化学 スモッグ													
注 意 報	強 風	10	10	7	8	2				2	5	2	5	51
	大 雨				3		3	6	5	5	5			27
	洪 水				2		2	6	5	4	2			21
	乾 燥	3	7	6	5	3						2	3	21
	雷			2	8	5	7	20	15	5	6	4	2	74
	大 雪	1												1
	風 雪	1												1
	着 雪	1												1
	濃 霧		2	3		3	1				4	6	1	20
	霜			4	9	2								15
	低 温	1	1											2
	光化学 スモッグ							1	2					3
竜 巻													0	
合 計		17	20	22	35	15	13	35	27	18	25	14	11	252

月別降雨量観測状況

年間降雨量

1,382.5 ㎉

平成 25 年



もういいかい 火を消すまでは まあただよ

火事と救急は 119番

八潮市消防統計

平成25年版

編集・発行 八潮市消防本部

〒340-0802

八潮市大字鶴ヶ曾根1185

TEL 048(996)0119

FAX 048(997)1300

市民が育む 品格と活力のあるまち やしお

